

R-N602

ネットワークレシーバー

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

musicCast

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

 	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
    	「～しないでください」という「禁止」を示します。
 	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または大けがを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示の欄は、「けがを負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常ににおいや音がする。 ● 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。 ● 異常に高温になる。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステークルで止めない。 ● 加工をしない。
- 热器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電池



電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右20cm、上30cm、背面20cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。

電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



必ず実行

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する。

本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

使用上の注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



禁止

放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまつたまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

電源/電源コード



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。

プラグを抜く



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

禁止



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

必ず実行



電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

禁止



本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。

本体の「**電**」ボタンでシステムオフ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

必ず実行

電池



電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行



電池は幼児の手の届かない所に保管する。

口に入れたりすると危険です。

必ず実行



指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。

必ず実行



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例または取り決めて従って廃棄する。

必ず実行

設置



必ず2人以上で開梱や持ち運びをする。

重いので、けがの原因になります。

必ず実行



不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のある場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばや車内など)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

必ず実行



無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。

遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

必ず実行



屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。

工事には、技術と経験が必要です。

必ず実行



機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。

突然大きな音が出たり、感電したりすることがあります。

必ず実行

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



環境温度が急激に変化する場所では使用しない。
本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

リモコン



水やお茶などの液体をこぼさない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。感電の原因になります。



落としたり、強い衝撃を与えたたりしない。
故障の原因になります。



下記のような場所に置かない。
● 風呂場の近くなど、湿度が高いところ
● 暖房器具やストーブの近くなど、温度が高いところ。
● 極端に寒いところ
● ほこりの多いところ
火災や故障の原因になります。

お手入れ



お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



年に一度くらいは内部の掃除を販売店に相談する。
ほこりがたまつたまま使用を続けると、火災や故障の原因になることがあります。



本体のこの表示のある部分は、使用中に熱くなることがあります。
触るとやけどをするおそれがあるので、
使用中や使用直後は取扱いに注意してください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本機の無線方式について

(Wi-Fi)

2.4 DS/OF 4

「2.4」
「DS/OF」
「4」
■ ■ ■

2.4 GHz 帯を使用する無線設備
変調方式は DS-SS および OFDM 方式
想定干渉距離が 40 m 以内
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(Bluetooth)

2.4 FH 1

「2.4」
「FH」
「1」
■ ■ ■

2.4 GHz 帯を使用する無線設備
変調方式は周波数ホッピング (FH-SS) 方式
想定干渉距離が 10 m 以内
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

Bluetoothについて

Bluetoothとは、無許可で使用可能な2.4GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。
Bluetooth対応機器は同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線機器を搭載しています。

目次

本機の特長

本機でできること	8
本機で再生できる音声ソース	8
便利なアプリで使いこなす (MusicCast CONTROLLER)	9
付属品	10
各部の名称と機能	11
フロントパネル	11
フロントディスプレイ	13
リアパネル	14
リモコン	15

準備する

スピーカーと外部機器を接続する	17
スピーカーを接続する	18
FM/AM アンテナを接続する	19
ネットワークケーブルを接続する	20
無線アンテナを立てる	20
電源コードを接続する	20
ネットワークに接続する	21
iOS デバイスの設定を共有する	22
WPS ボタンを使って設定する	23
無線接続を手動で設定する	24
モバイル端末を本機に直接接続する (ワイヤレスダイレクト)	25
ネットワークの接続状態を確認する	26

再生する

再生	27
入力ソースを選んで再生する	27
スリーブタイマーを使う	29
FM/AM ラジオを聞く	30
周波数を指定して選局する	30
ラジオ局を自動で登録する(オートプリセット)	30
ラジオ局を手動で登録する	31
登録したラジオ局を呼び出す	32
ラジオ局の登録を解除する	32
Bluetooth 対応機器を再生する	33
Bluetooth 機器を接続する(ペアリング)	33
Bluetooth 機器の曲を再生する	34
Bluetooth 機器との接続を切断する	34
パソコン(サーバー)の曲を再生する	35
パソコン内の音楽ファイルを共有する	35
パソコン(サーバー)の曲を選ぶ	36
インターネットラジオを聞く	38
お気に入りのインターネットラジオ局を登録する (ブックマーク)	39

本機の特長

準備する

再生する

設定する

付録

AirPlay で音楽を聴く	40
iTunes/iPod で曲を再生する	40
radiko.jp を聴く	42
放送局名から選局する	42
USB 機器の曲を再生する	43
USB 機器を接続する	43
USB 機器の曲を選ぶ	43
iPod の曲を再生する	45
iPod を接続する	45
iPod の曲を選ぶ	45
フロントディスプレイの表示を切り替える	47
再生中の曲 / 放送局を登録する	
(プリセット機能)	48
曲 / 放送局を登録する	48
登録した曲 / 放送局を呼び出す	48
再生ソースに合わせて設定する	
(オプションメニュー)	49
オプションメニュー項目	49
設定する	
詳細機能を設定する(設定メニュー)	50
設定メニュー項目	50
Network	51
Bluetooth	52
Max Volume	53
Initial Volume	53
AutoPowerStandby (Auto Power Standby)	53
ECO Mode	53
システム設定を変更する	
(アドバンストセットアップメニュー)	54
アドバンストセットアップメニュー項目	54
スピーカーインピーダンスの切り替え (SP IMP.)	54
リモコン ID の変更 (REMOTE ID)	54
設定の初期化 (INIT)	54
ファームウェアの更新 (UPDATE)	55
ファームウェアバージョンの確認 (VERSION)	55
ネットワーク経由で本機のファームウェアを 更新する	56
付録	
故障かな?と思ったら	57
フロントディスプレイのエラー表示	62
商標	63
主な仕様	64
索引	66

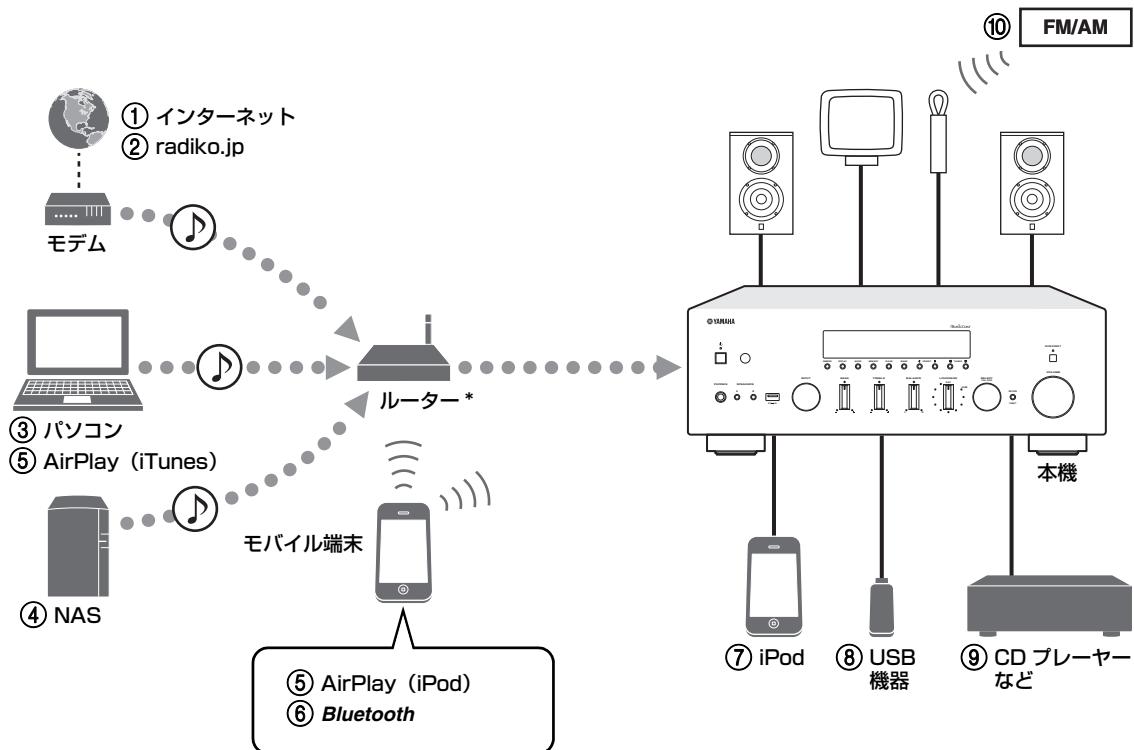
・「ご注意」は本機を操作する際の注意事項を記載しています。※は知っておくと便利な補足情報を記載しています。
・本書は付属のリモコンによる操作を主として説明しています。
・本書は iPod、iPhone を総称して「iPod」と表記しています。説明文に限定する記載がない場合、「iPod」という表記は iPod および iPhone を意味します。
・本書では、iOS および Android 携帯端末を総称して、「モバイル端末」と表記しています。必要な場合は、説明文中で携帯端末の種類を特定しています。

本機でできること

本機は、メディアサーバーやモバイルデバイスなどのネットワークソースに対応するネットワークレシーバーです。

CD プレーヤーや FM/AM ラジオなどのアナログソースの再生をはじめ、Bluetooth 機器の再生、ネットワークストリーミングサービスの再生にも対応します。

本機で再生できる音声ソース



* モバイル端末を使う場合は、無線 LAN ルーター（アクセスポイント）が必要です。

- ① インターネットラジオの再生（38 ページ）
- ② radiko.jp の再生（42 ページ）
- ③ パソコン内の音楽ファイルの再生（35 ページ）
- ④ NAS 内の音楽ファイルの再生（35 ページ）
- ⑤ AirPlay の再生（40 ページ）
- ⑥ Bluetooth 機器の再生（33 ページ）
- ⑦ iPod の再生（45 ページ）
- ⑧ USB 機器の再生（43 ページ）
- ⑨ 外部機器の再生（27 ページ）
- ⑩ FM/AM ラジオの再生（30 ページ）

外部機器の接続方法について詳しくは「スピーカーと外部機器を接続する」（17 ページ）をご覧ください。

便利なアプリで使いこなす（MusicCast CONTROLLER）

専用の無料アプリ「MusicCast CONTROLLER」をスマートフォンなどのモバイル端末にインストールすると、本機の操作 / 設定やインターネット上のコンテンツの再生などモバイル端末から操作できます。詳しくは、App Store または Google Play で「MusicCast CONTROLLER」を検索してください。

■ MusicCast CONTROLLERでできること

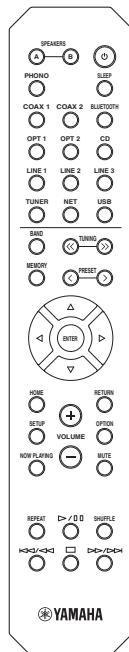
- ・本機の基本操作（電源オン / スタンバイ、音量調節、入力選択）
- ・パソコン / サーバーに保存された曲を再生する
- ・インターネットラジオを再生する
- ・モバイル端末に保存された曲を再生する
- ・radiko.jp を再生する
- ・本機とヤマハ MusicCast 対応機器とのあいだで音声を配信 / 受信する

詳しくは付属の「MusicCast セットアップガイド」をご覧ください。

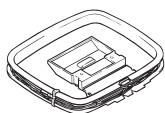
付属品

ご使用になる前に、同梱されている付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

リモコン



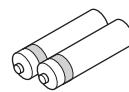
AM アンテナ



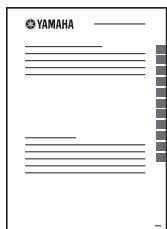
FM アンテナ



単3乾電池
(2本)

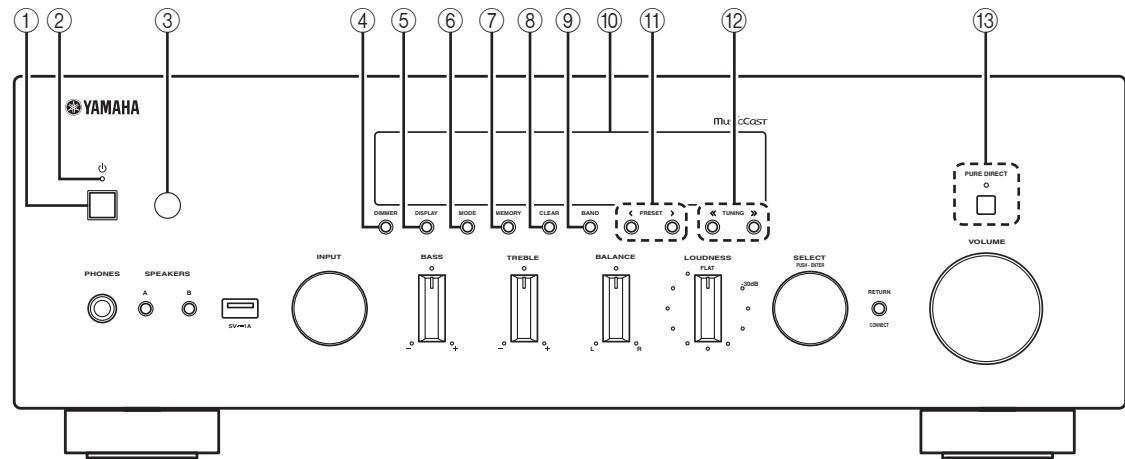


MusicCast セットアップガイド



各部の名称と機能

フロントパネル



本機の特長

① (電源) スイッチ

電源のオン / オフを切り替えます。

② スタンバイ / オンインジケーター

点灯：電源がオンの状態。

暗い点灯：電源がスタンバイの状態。

ご注意

スタンバイ時はリモコンの信号を受信するために少量の電力を消費します。

③ リモコン信号受光部

リモコンの信号を受信します。

④ DIMMER

フロントディスプレイの明るさを切り替えます。キーを押すたびに5段階で明るさが替わります。

⑤ DISPLAY

フロントディスプレイに表示される情報を切り替えます（47ページ）。

⑥ MODE

FMラジオの受信方法（ステレオ / モノラル）を切り替えます（30ページ）。

iPodの再生方法を切り替えます（46ページ）。

⑦ MEMORY

FM/AMラジオの再生時にFM/AM放送局を登録（プリセット）します（31ページ）。

ネットワーク入力、USB入力（iPod接続時を除く）の選択時に、再生中の曲や放送局を登録（プリセット）します（48ページ）。

⑧ CLEAR

FM/AMラジオの再生時、登録（プリセット）した放送局を登録解除します（32ページ）。

⑨ BAND

FM/AMを切り替えます。

⑩ フロントディスプレイ

各種情報が表示されます（13ページ）。

⑪ PRESET </ >

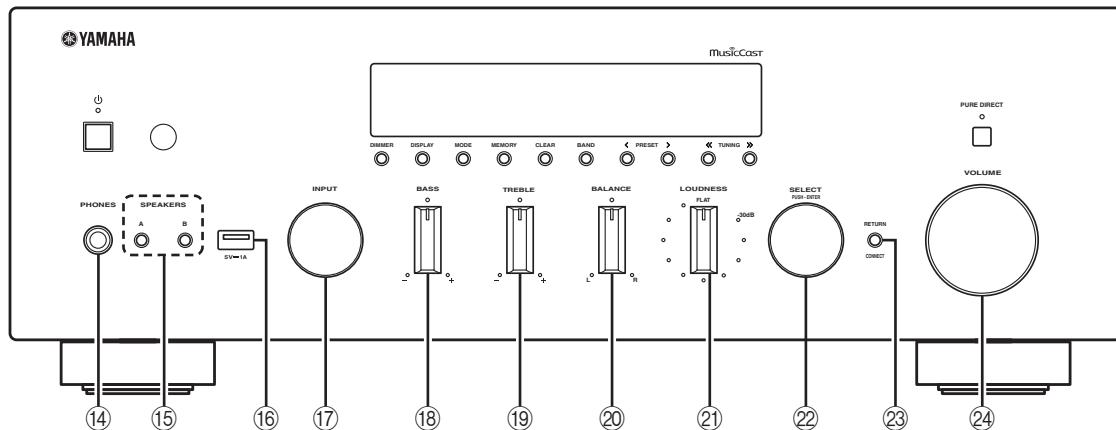
登録（プリセット）したFM/AM放送局（32ページ）や、登録した曲 / インターネット放送局を呼び出します（48ページ）。

⑫ TUNING << / >>

FM/AMラジオの周波数を切り替えます（30ページ）。

⑬ PURE DIRECT

ピュアダイレクトの有効 / 無効を切り替えます（27ページ）。オンにすると、インジケーターが点灯し、フロントパネルが消灯します。



⑭ PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

⑮ SPEAKERS A/B

再生するスピーカーを切り替えます。「A」を押すと SPEAKERS A 端子に接続したスピーカー、「B」を押すと SPEAKERS B 端子に接続したスピーカーを使って再生できます。

⑯ USB 端子

USB 機器 (43 ページ) や iPod (45 ページ) を接続します。

⑰ INPUT セレクター

本機の入力ソースを切り替えます。

⑱ BASS コントロール

出力される音声の低音域の特性を調整します (28 ページ)。中央に合わせたとき、標準的な特性になります。

⑲ TREBLE コントロール

出力される音声の高音域の特性を調整します (28 ページ)。中央に合わせたとき、標準的な特性になります。

⑳ BALANCE コントロール

左右の音量バランスを調整します (28 ページ)。スピーカーの位置や室内的条件による音のアンバランスを補正します。

㉑ LOUDNESS コントロール

音量によらず、すべての音域を自然に再生できるように調節します (28 ページ)。

㉒ SELECT/ENTER (ジョグダイヤル)

回して選択項目を切り替え、押して選択を確定します。

㉓ RETURN

フロントパネルディスプレイにひとつ上の階層のメニューを表示します。

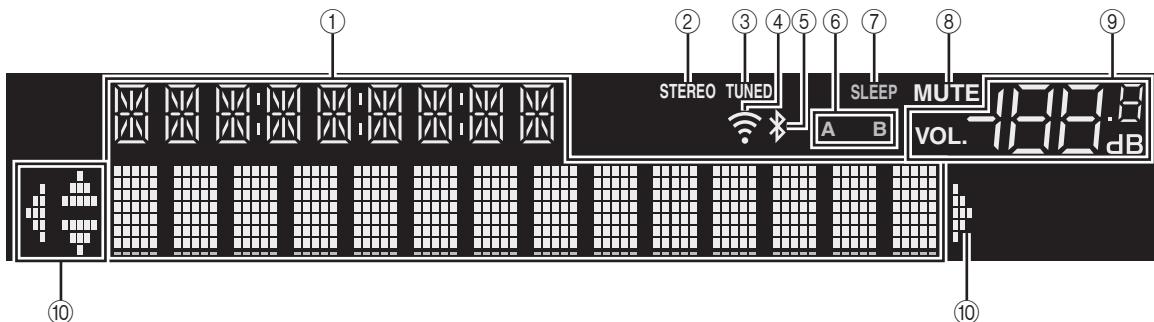
CONNECT

モバイル端末専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使って本機を操作するときには使用します。詳しくは付属の「MusicCast セットアップガイド」をご覧ください。

㉔ VOLUME コントロール

本機の音量を調節します。

フロントディスプレイ



ネットワーク接続が未設定の場合、電源をオンにするとフロントディスプレイに「WAC (Wireless Accessory Configuration)」と表示され iOS デバイス (iPhone/iPod touch) を自動で検索します。iOS デバイスとのネットワーク接続については「iOS デバイスの設定を共有する」(22 ページ) をご覧ください。

① 情報ディスプレイ

入力ソース名など本機の各種情報が表示されます。
フロントパネルの DISPLAY を押すと、表示される情報を切り替えできます (47 ページ)。

② STEREO

FM ラジオをステレオで受信すると点灯します。

③ TUNED

FM/AM ラジオを受信すると点灯します。

④ Wi-Fi インジケーター

無線接続している場合や、アクセスポイントとして動作しているときに点灯します。電波の強さは、インジケーターの状態で確認できます。

⑤ Bluetooth インジケーター

Bluetooth 機器に接続すると点灯します。

⑥ スピーカーインジケーター

再生しているスピーカーのインジケーター (A/B) が点灯します。

⑦ SLEEP

スリープタイマーを設定すると点灯します。

⑧ MUTE

音声をミュートすると点滅します。

⑨ 音量インジケーター

本機の音量設定を表示します。

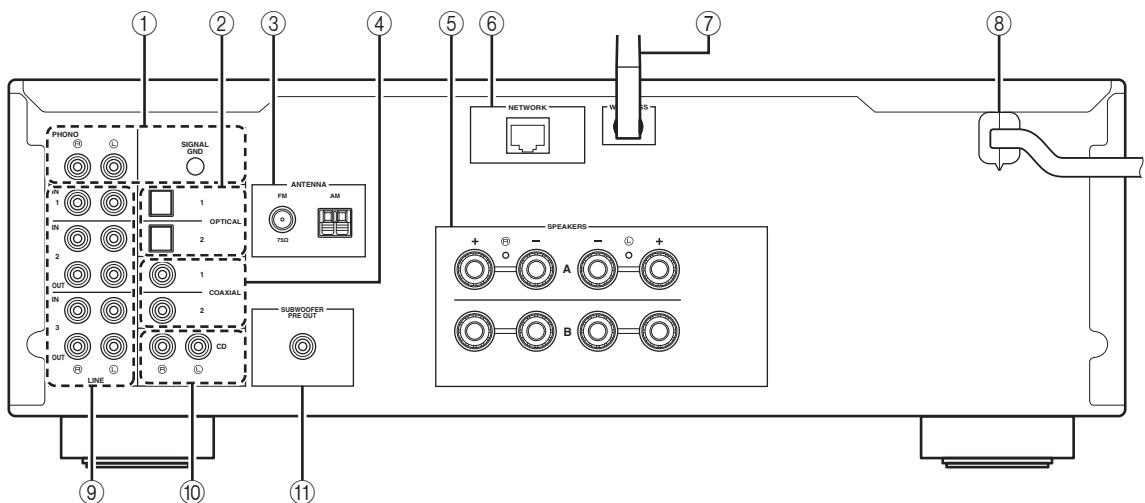
⑩ カーソルインジケーター

リモコンのカーソルキーを使って操作可能な場合に点灯します。



フロントディスプレイの明るさは、フロントパネルの DIMMER を押して調節できます (11 ページ)。

リアパネル



① PHONO 端子

レコードプレーヤーを接続します (17 ページ)。

② OPTICAL 1/2 端子

光デジタル出力を持つ外部機器を接続します (17 ページ)。

③ ANTENNA 端子

FM/AM アンテナを接続します (19 ページ)。

④ COAXIAL1/2 端子

同軸デジタル出力を持つ外部機器を接続します (17 ページ)。

⑤ SPEAKERS 端子

スピーカーを接続します (18 ページ)。

⑥ NETWORK 端子

ネットワークケーブルを接続し、本機をネットワークに接続します (20 ページ)。

⑦ 無線アンテナ

ネットワーク機器とワイヤレス接続します (20 ページ)。

⑧ 電源コード

電源コンセントに接続します (20 ページ)。

⑨ LINE 1 ~ 3 端子

アナログ音声出力を持つ外部機器を接続します (17 ページ)。

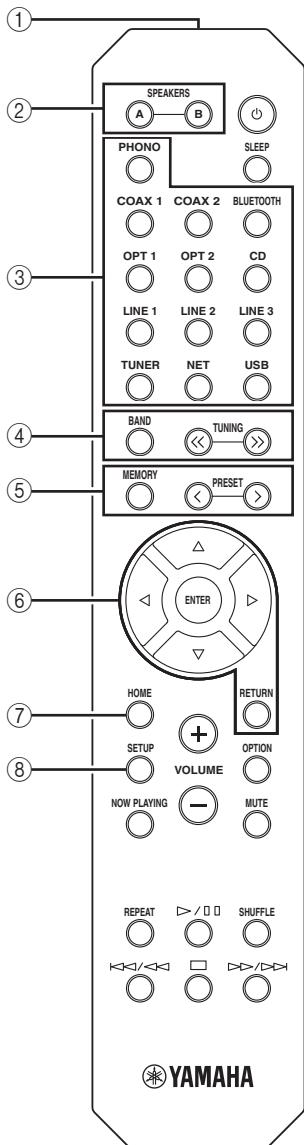
⑩ CD 端子

CD プレーヤーを接続します (17 ページ)。

⑪ SUBWOOFER PRE OUT 端子

アンプ内蔵のサブウーファーを接続します (17 ページ)。

リモコン



① リモコン信号送信部

リモコン信号を送信します。

② SPEAKERS A/B

再生するスピーカーを切り替えます。「A」を押すと SPEAKERS A 端子に接続したスピーカー、「B」を押すと SPEAKERS B 端子に接続したスピーカーを使って再生できます。

③ 入力選択キー

再生したい入力ソースを選びます。

PHONO PHONO 端子

COAX 1/2 COAXIAL 1/2 端子

BLUETOOTH Bluetooth 入力

OPT1/2 OPTICAL 1/2 端子

CD CD 端子

LINE 1 ~ 3 LINE 1 ~ 3 端子

TUNER FM/AM ラジオ

NET ネットワーク入力（キーを押すたびにネットワーク系の入力ソースに切り替わります）

USB USB 端子

④ ラジオキー

FM/AM ラジオを操作します（30 ページ）。

BAND FM/AM を切り替えます。

TUNING << / >> ラジオの周波数を切り替えます。

⑤ プリセットキー

MEMORY FM/AM ラジオの再生時に FM/AM 放送局を登録（プリセット）します（31 ページ）。

ネットワーク入力、USB 入力（iPod 接続時を除く）の選択時に、再生中の曲や放送局を登録（プリセット）します（48 ページ）。

PRESET </ > 登録（プリセット）した FM/AM 放送局（32 ページ）や、登録した曲 / インターネット放送局を呼び出します（48 ページ）。

⑥ メニュー操作キー

カーソルキー (△/▼/◀/▶) メニューや設定値を選びます。

ENTER 選択項目を決定します。

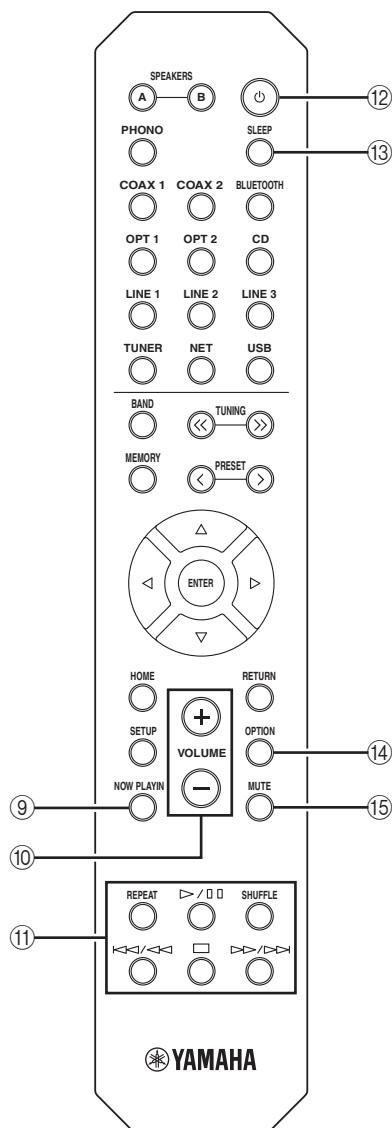
RETURN メニュー操作中に、1 つ前の表示に戻します。

⑦ HOME

音楽ファイルやフォルダなどの選択操作中に、一番上の階層に移動します。

⑧ SETUP

設定メニューを表示します（50 ページ）。



⑨ NOW PLAYING

音楽ファイルやフォルダなどの選択操作中に、曲情報を表示します。

⑩ VOLUME + / -

本機の音量を調節します。

⑪ 再生キー

ネットワーク入力や Bluetooth 入力、USB 入力の選択時に再生操作を行います。

⑫ ⏪ (電源)

電源のオン / スタンバイを切り替えます。

⑬ SLEEP

スリープタイマーを設定します (29 ページ)。

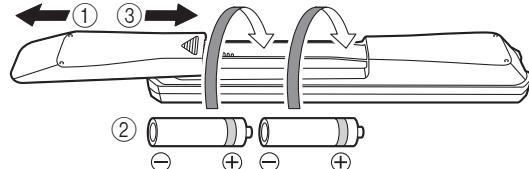
⑭ OPTION

オプションメニューを表示します (49 ページ)。

⑮ MUTE

本機の音声をミュートします。

■ 乾電池を入れる

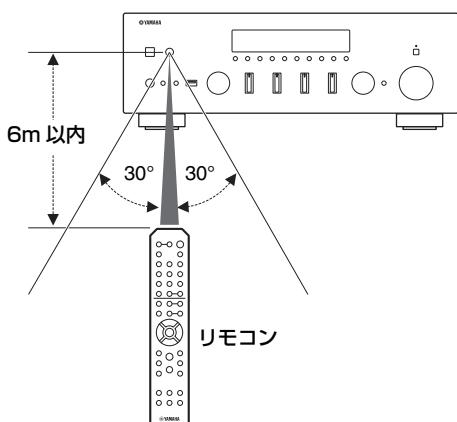


ご注意

- リモコンで操作可能な範囲が極端に短くなりましたら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。
- 新しい乾電池と交換する場合は、電池ケース内のほこりをふき取ってください。

■ 操作範囲

リモコンは必ず本体のリモコン信号受光部に向けて操作してください。

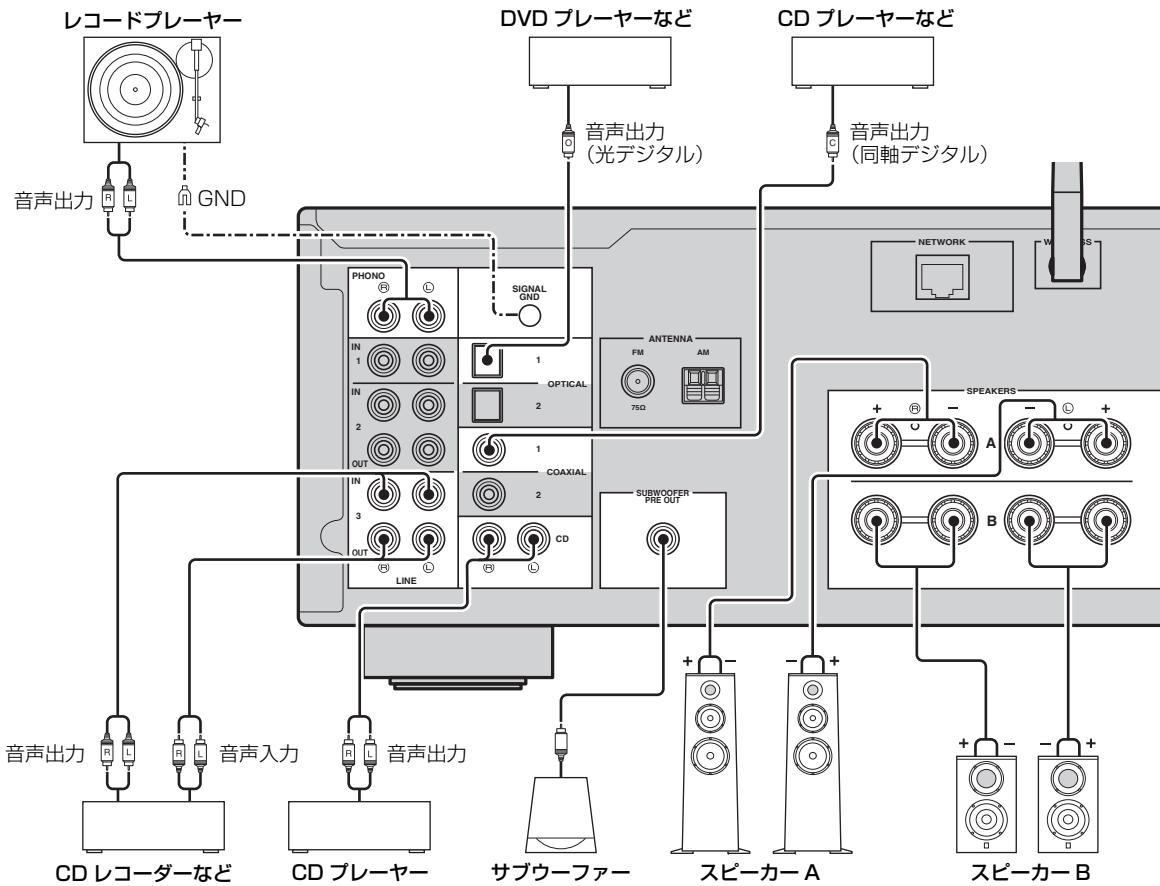


スピーカーと外部機器を接続する

重要

- すべての接続が終わるまで、本機や本機に接続した機器の電源コードを家庭用コンセントに差し込まないでください。
- 左チャンネル (L)、右チャンネル (R)、+ (赤)、- (黒) をよく確認して、正しく接続してください。接続が間違っていると、スピーカーから音が出ない場合があります。また、極性が間違っていると、音が不自然に聴こえたり低音が聴こえなかったりすることがあります。その他の機器に付属している取扱説明書をご覧ください。
- スピーカーケーブルの裸線部は、他のスピーカーケーブルの裸線部または本機の金属部分とは接触させないでください。本機やスピーカーが損傷することがあります。
- 他の機器との接続には端子の形状に応じて RCA タイプのピンケーブル、光ファイバーケーブル、USB ケーブルを使用してください。

準備する



本機のデジタル入力端子 (OPTICAL/COAXIAL) に入力できるデジタル信号は、PCM 信号のみです。



- 本機には MM カートリッジを備えたレコードプレーヤーを接続できます。
- レコードプレーヤーのアースを SIGNAL GND 端子に接続すると、雑音を低減することができます。ただし、レコードプレーヤーによっては、SIGNAL GND 端子に接続しないほうが雑音が少ない場合があります。

ご注意

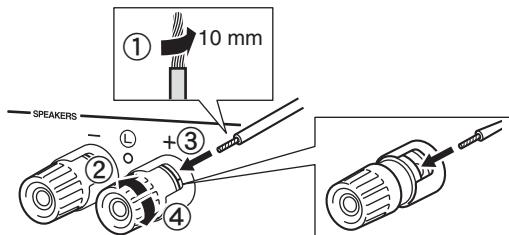
音声のループを防ぐため、LINE 2 入力の選択中は LINE 2 (OUT) 端子から音声は出力されません。同様に LINE 3 入力の選択中は LINE 3 (OUT) 端子から音声は出力されません。

スピーカーを接続する

■ スピーカーケーブルを接続する

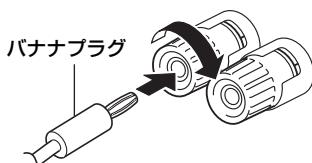
通常スピーカーケーブルは2芯(+と-)で1本になっています。片方で本機とスピーカーの- (マイナス) 端子どうし、もう一方で+ (プラス) 端子どうしを接続してください。色で区別されている場合、黒を- (マイナス) 側、もう一方を+ (プラス) 側と決めておくと間違わずに接続できます。

- ① スピーカーケーブル先端の絶縁部(被覆)を約10mmはがし、芯線をしっかりとよじる。
- ② スピーカー端子を左に回して、ゆるめる。
- ③ スピーカー端子の穴に、スピーカーケーブルの芯線を差し込む。
- ④ スピーカー端子を右に回して締める。



■ バナナプラグを使用して接続する

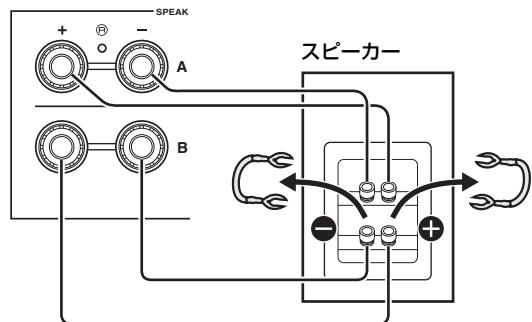
スピーカー端子を強くしめてから、バナナプラグを差し込みます。



■ バイワイヤリング接続

バイワイヤリング接続に対応したスピーカーの場合、以下のように接続することでスピーカーのウーファー部とツイーター / ミッドレンジ部を独立して駆動し、濁りのない中高音を楽しむことができます。

本機



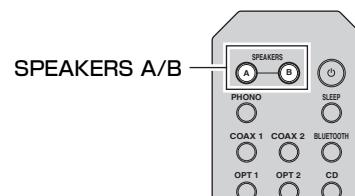
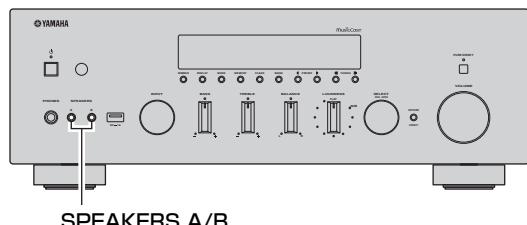
もう一方のスピーカーも同様に接続します。

ご注意

バイワイヤリング接続をするときは、必ずスピーカー側の端子に装着されたショーティング用金具やケーブルを取り外してください。詳しくは、スピーカー付属の取扱説明書をご覧ください。



バイワイヤリング接続を利用するには、フロントパネルまたはリモコンの SPEAKERS A/B の両方を押してください。スピーカーインジケーター A/B が両方点灯した状態でバイワイヤリング接続が有効になります。



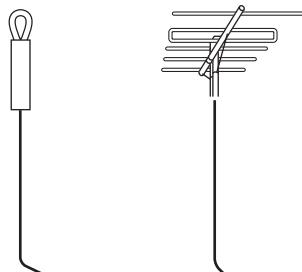
FM/AMアンテナを接続する

付属のFMアンテナとAMアンテナを接続します。

ご注意

付属のFM簡易アンテナおよびAMループアンテナでうまく受信ができない場合は、別売りの屋外アンテナをご使用ください。屋外アンテナの入手方法については、お近くの家電販売店や音響機器の販売店にご相談ください。

FMアンテナ
(付属品) または FM屋外
アンテナ

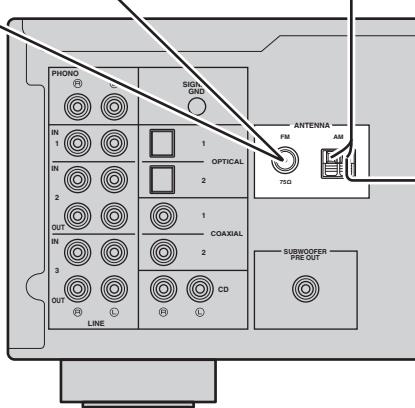


AMアンテナ(付属品)

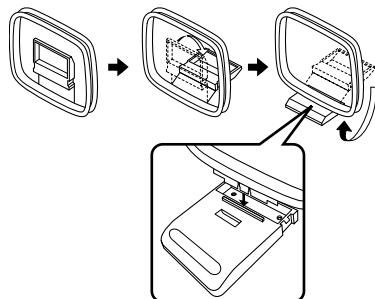
屋外アンテナを設置した場合でも、AMループアンテナは必ず接続してください。
AMループアンテナは本機から離して設置してください。

AM屋外アンテナ

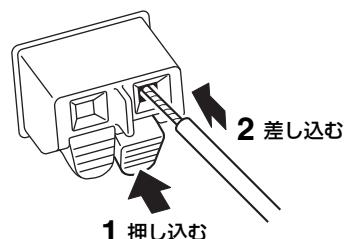
付属のAMアンテナで受信状態がよくな
い場合は、市販の5~10mのビニール
被覆線を屋外に張ってください。



■ AMアンテナの組立方法

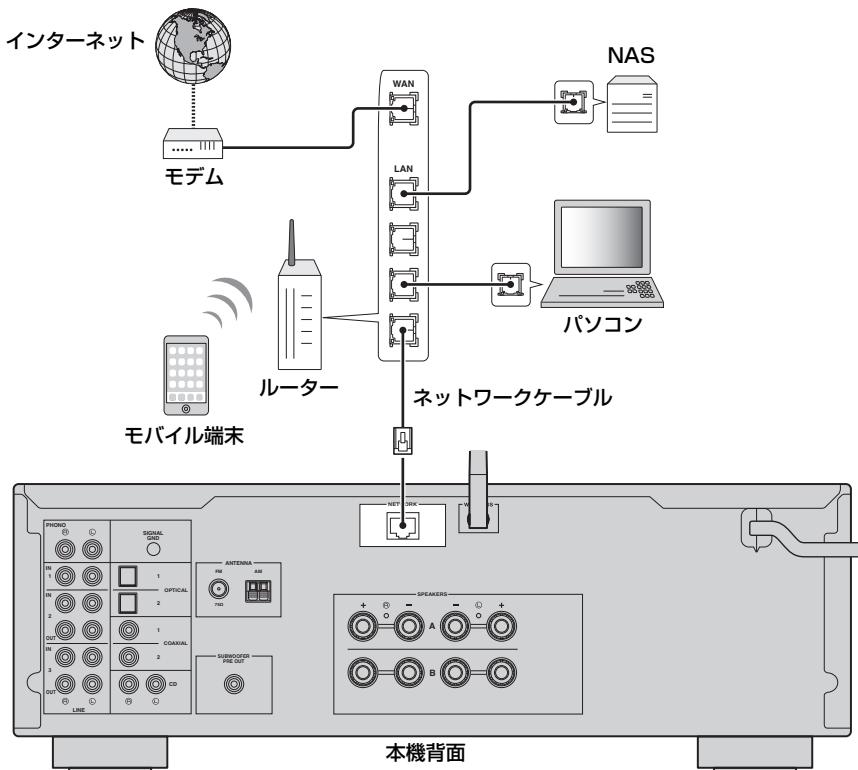


■ AMアンテナの接続方法



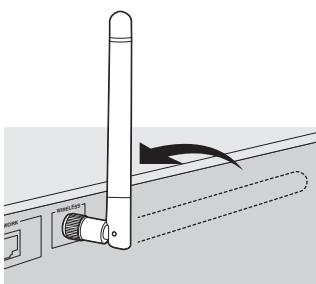
ネットワークケーブルを接続する

市販の STP ネットワークケーブル (CAT-5 以上のストレートケーブル) を使って接続してください。



無線アンテナを立てる

本機をネットワークに無線接続する場合は、本体背面の無線アンテナを立てます。無線接続の設定方法は「ネットワークに接続する」(21 ページ) をご覧ください。

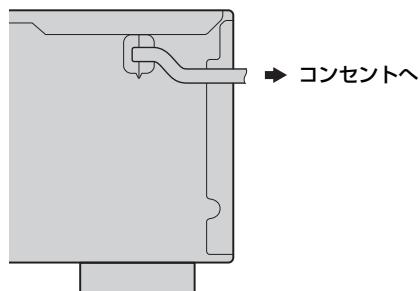


ご注意

無線アンテナに極端な力を加えたりしないでください。破損するおそれがあります。

電源コードを接続する

すべての接続が終了したら、本機の電源コードのプラグを家庭用コンセントに接続します。



ネットワークに接続する

本機はさまざまな方法でネットワークに接続できます。ご使用になる環境に合わせてお好みの接続方法を選んでください。

ご注意

- セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がパソコンやインターネットラジオにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。
- サブネットを手動で設定する場合は、すべて本機と同じサブネットに設定してください。
- インターネット接続はブロードバンド回線を推奨します。

ネットワーク経由でハイレゾ音源を再生する場合は、安定した再生が行えるよう有線 LAN ルーターを使って接続することをおすすめします。

■ 「MusicCast CONTROLLER」を使って接続する場合

接続方法は、付属の「MusicCast セットアップガイド」をご覧ください。

■ 有線LANルーターを使って接続する場合

ルーターの DHCP 機能を使って接続する

有線接続を行うだけでネットワークに接続できます（20 ページ）

■ 無線LANルーター（アクセスポイント）を使って接続する場合

ご使用になる環境に合わせて、下記いずれかの方法でネットワークに接続してください。

iOS デバイス (iPhone/iPod touch) の Wi-Fi 設定を使って接続する

iOS デバイスの Wi-Fi 設定を共有してください（22 ページ）

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の WPS ボタンを使って接続する

WPS ボタンを使って設定してください（23 ページ）

WPS ボタンのない無線 LAN ルーター（アクセスポイント）と接続する

手動でネットワーク設定を行ってください（24 ページ）

■ 有線LANルーターまたは無線LANルーター（アクセスポイント）がない場合

モバイル端末と本機を無線接続する（ワイヤレスダイレクト）

ワイヤレスダイレクトで無線接続してください（25 ページ）

ご注意

ワイヤレスダイレクトで接続した場合、他の無線 LAN ルーター（アクセスポイント）には接続できません。インターネット上のコンテンツを再生したい場合は、有線 LAN ルーターまたは無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を使って本機をインターネットに接続してください。

iOSデバイスの設定を共有する

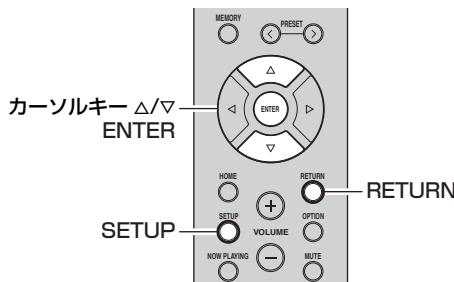
お使いの iOS デバイス (iPhone/iPod touch) のネットワーク設定を本機に適用して、簡単に無線接続を設定できます。

以下の手順を実行する前に、お使いの iOS デバイスが無線 LAN ルーター (アクセスポイント) に接続されていることをご確認ください。

ネットワーク接続が未設定の場合、電源をオンにするとフロントディスプレイに「WAC」と表示され、iOS デバイスからの共有設定が可能になります。



iOS デバイスの設定を共有する場合は、お使いの iOS デバイスで共有設定を行ってください。



1 ⏪ (電源) を押して本機の電源をオンにする。

2 SETUP を押す。

3 カーソルキー (△/▽) で「Network」を選び、ENTER を押す。

RETURN を押すと 1 つ前の表示に戻すことができます。

4 カーソルキー (△/▽) で「Connection」を選び、ENTER を押す。

5 カーソルキー (△/▽) で「Wireless」を選び、ENTER を押す。



6 カーソルキー (△/▽) で「Share Setting」を選び、ENTER を押す。



7 カーソルキー (△/▽) で iOS デバイスとの接続方法を選び、ENTER を押す。

Wireless (WAC)

無線ネットワークを使って本機に iOS デバイスの接続設定を適用します。詳しくは「無線ネットワークを使って iOS デバイスの設定を共有する」(22 ページ) をご覧ください。(設定には iOS バージョン 7 以降の iOS デバイスが必要です。)

USB Cable

USB ケーブルで接続した iOS デバイスの接続設定を本機に適用します。詳しくは「USB ケーブルを使って iOS デバイスの設定を共有する」(23 ページ) をご覧ください。(設定には iOS バージョン 5 以降の iOS デバイスが必要です。)

ご注意

「Wireless(WAC)」を選択時は、以前に行ったネットワーク設定がすべて初期化されます。

■ 無線ネットワークを使って iOS デバイスの設定を共有する

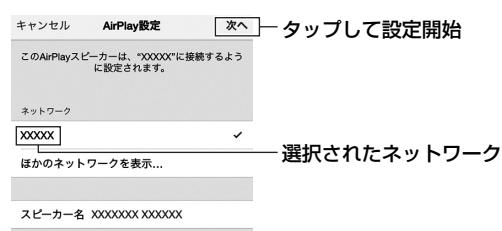
接続方法として「Wireless(WAC)」を選択した場合は、お使いの iOS デバイスで設定操作を行います(以下の画面は iOS8 の設定例です)。

1 iOS デバイスの Wi-Fi 画面で、AirPlay スピーカーを本機に設定する。



本機の名前

2 選択されたネットワークを確認し「次へ」をタップする。



共有が完了すると、自動的に本機がネットワークに接続されます。

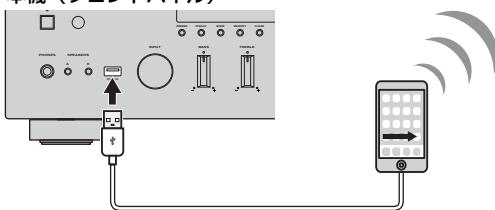
本機が無線ネットワークに接続されているか確認してください (26 ページ)。

■ USBケーブルを使ってiOSデバイスの設定を共有する

接続方法として「USB Cable」を選択した場合は、以下の手順でお使いのiOSデバイスの設定を共有できます。

1 iOSデバイスを本機のUSB端子に接続し、iOSデバイスのスクリーンロックを解除する。

本機（フロントパネル）



2 リモコンのENTERを押す。

3 iOSデバイスの画面に表示された「許可」をタップする。

共有が完了すると、フロントディスプレイに「Completed」と表示されます。

設定が終わったら、本機が無線ネットワークに接続されているか確認してください（26ページ）。

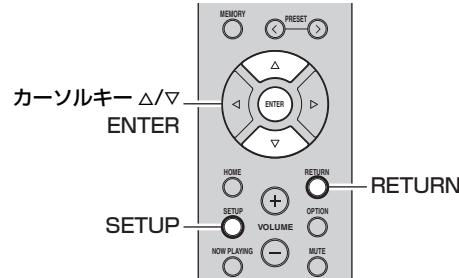
4 設定メニューを終了するにはリモコンのSETUPを押す。

WPSボタンを使って設定する

無線LANルーター（アクセスポイント）のWPSボタンを押すだけで、簡単に無線接続を設定できます。

ご注意

セキュリティ方式にWEPを使用している無線LANルーター（アクセスポイント）には接続できません。この場合は、別の接続方法をお試しください。



1 ⌂（電源）を押して本機の電源をオンにする。

2 SETUPを押す。

3 カーソルキー（△/▽）で「Network」を選び、ENTERを押す。



RETURNを押すと1つ前の表示に戻すことができます。

4 カーソルキー（△/▽）で「Connection」を選び、ENTERを押す。



6 ENTERを2度押す。

フロントディスプレイに「Connecting」と表示されます。

7 無線LANルーター（アクセスポイント）のWPSボタンを押す。

接続が完了すると、フロントディスプレイに「Completed」と表示されます。設定が終わったら、本機が無線ネットワークに接続されているか確認してください（26ページ）。

「Not connected」と表示された場合は、手順1からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

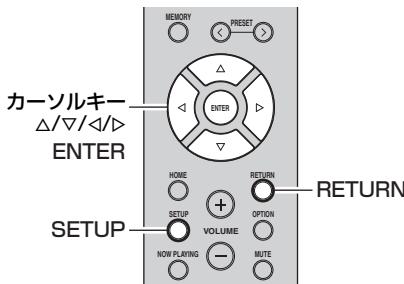
8 設定メニューを終了するには SETUP を押す。

WPS とは

WPS (Wi-Fi Protected Setup) とは、Wi-Fi Alliance によって策定された規格です。WPS により、無線ネットワークを簡単に設定できます。

無線接続を手動で設定する

本機を手動で無線ネットワークに接続します。以下の手順を行う前に、無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のセキュリティ方式とセキュリティキーを確認してください。



1 Ⓛ（電源）を押して本機の電源をオンにする。

2 SETUP を押す。

3 カーソルキー（△/▽）で「Network」を選び、ENTER を押す。

4 カーソルキー（△/▽）で「Connection」を選び、ENTER を押す。

5 カーソルキー（△/▽）で「Wireless」を選び、ENTER を押す。



6 カーソルキー（△/▽）で「Manual Setting」を選び、ENTER を押す。



7 カーソルキー（△/▽）で「SSID」を選び、ENTER を押す。



8 カーソルキーで無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の SSID を入力し、RETURN を押す。

カーソルキー（△/▽）で文字の変更、カーソルキー（◀/▶）で入力位置を変更できます。

9 カーソルキー（△/▽）で「Security」を選び、ENTER を押す。



10 カーソルキー（◀/▶）でセキュリティ方式を選び、RETURN を押す。

設定値

None、WEP、WPA2-PSK (AES)、Mixed Mode

ご注意

「None」を選択した場合、通信が暗号化されず、安全な通信ができない場合があります。

11 カーソルキー（△/▽）で「Security Key」を選び、ENTER を押す。



12 カーソルキーで無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のセキュリティキーを入力し、RETURN を押す。

手順 10 で「WEP」を選んだ場合は、5 行か 13 行の文字、または 10 行か 26 行の 16 進数を入力します。

「WPA2-PSK (AES)」または「Mixed Mode」を選んだ場合は、8 ~ 63 行の文字、または 64 行の 16 進数を入力します。

カーソルキー（△/▽）で文字の変更、カーソルキー（◀/▶）で入力位置を変更できます。

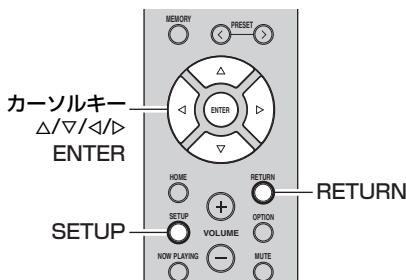
文字を挿入 / 削除したい場合は、PRESET > で文字の挿入、PRESET < で文字の削除が行えます。

- 13 カーソルキー (△/▽) で「Connect[ENTER]」を選び、ENTER を押して接続を実行する。
 「ERROR」と表示された場合は、入力した SSID またはセキュリティキーが正しくない可能性があります。手順 7 からやり直してください。
 「ERROR」と表示されない場合、接続は完了です。本機が無線ネットワークに接続されているか確認してください (26 ページ)。

- 14 設定メニューを終了するには SETUP を押す。

モバイル端末を本機に直接接続する (ワイヤレスダイレクト)

ワイヤレスダイレクトを使うと、本機をアクセスポイントとして動作させて、モバイル端末と直接接続できます。



ご注意

ワイヤレスダイレクトで接続した場合、他の無線 LAN ルーター (アクセスポイント) には接続できません。インターネット上のコンテンツを再生したい場合は、有線 LAN ルーターまたは無線 LAN ルーター (アクセスポイント) を使って本機をインターネットに接続してください。

- 1 ⌂ (電源) を押して本機の電源をオンにする。

- 2 SETUP を押す。

- 3 カーソルキー (△/▽) で「Network」を選び、ENTER を押す。

RETURN を押すと 1 つ前の表示に戻すことができます。

- 4 カーソルキー (△/▽) で「Connection」を選び、ENTER を押す。

- 5 カーソルキー (△/▽) で「WirelessDirect」を選び、ENTER を押す。



- 6 ENTER を押して本機の SSID を確認し、RETURN を押す。

- 7 カーソルキー (△/▽) で「Security」を選び、ENTER を押す。



- 8 カーソルキー (◀/▶) でセキュリティ方式を選び、RETURN を押す。

設定値

None、WPA2-PSK (AES)

ご注意

「None」を選択した場合、通信が暗号化されず、安全な通信ができない場合があります。

- 9 カーソルキー (△/▽) で「Security Key」を選び、ENTER を押す。



- 10 カーソルキーで任意のセキュリティキーを入力し、RETURN を押す。

8 ~ 63 行の文字、または 64 行の 16 進数を入力します。

カーソルキー (△/▽) で文字の変更、カーソルキー (◀/▶) で入力位置を変更できます。

文字を挿入 / 削除したい場合は、PRESET ▶ で文字の挿入、PRESET ◀ で文字の削除が行えます。

- 11 カーソルキー (△/▽) で「Connect[ENTER]」を選び、ENTER を押す。

- 12 モバイル端末の Wi-Fi 設定を行う。

詳しくは、モバイル端末の取扱説明書をご覧ください。

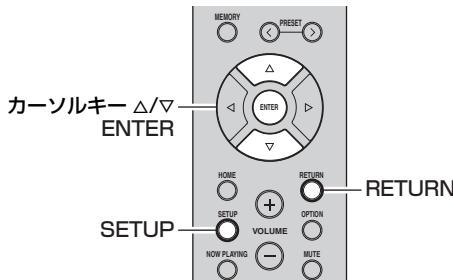
- (1) モバイル端末の Wi-Fi 機能を有効にする。
- (2) 利用可能なアクセスポイントの一覧が表示されたら、手順 6 で確認した本機の SSID を選ぶ。
- (3) パスワードの入力を求められたら、手順 10 で設定したセキュリティキーを入力する。

「ERROR」と表示された場合は、入力したセキュリティキーが正しくない可能性があります。再度モバイル端末の Wi-Fi 設定をやり直してください。「ERROR」と表示されない場合、接続は完了です。本機が無線ネットワークに接続されているか確認してください (26 ページ)。

- 13 設定メニューを終了するには SETUP を押す。

ネットワークの接続状態を確認する

以下の手順で本機がネットワークに接続されているか確認できます。



1 SETUP を押す。

2 カーソルキー (△/▽) で「Network」を選び、ENTER を押す。

RETURN を押すと 1 つ前の表示に戻すことができます。

3 カーソルキー (△/▽) で「Information」を選び、ENTER を押す。

4 カーソルキー (△/▽) で「STATUS」を選ぶ。

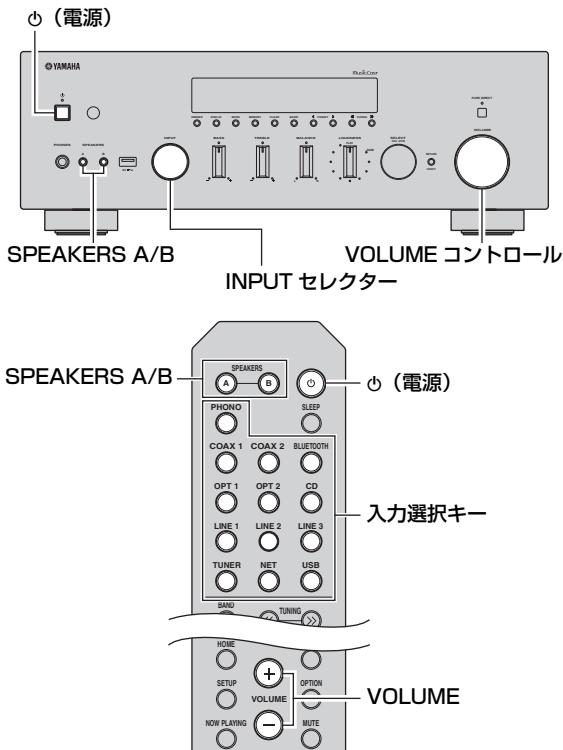


「Connect」が表示された場合は本機がネットワークに接続されています。「Disconnect」が表示された場合は、接続設定をやり直してください。

5 設定メニューを終了するには SETUP を押す。

再生

入力ソースを選んで再生する



- 1 Ⓛ (電源) を押して本機の電源をオンにする。
- 2 フロントパネルの INPUT セレクターを回して (またはリモコンの入力選択キーを押して) 、入力ソースを選択する。
- 3 フロントパネルまたはリモコンの SPEAKERS A/B を押して、再生するスピーカーを選択する。選択したスピーカーが有効になります。選択したスピーカーはフロントディスプレイで確認できます (13 ページ)。

ご注意

- ・ バイワイヤリング接続をする場合や、2組 (AとB) のスピーカーを同時に使用する場合は、SPEAKERS A/B を両方押してください。
- ・ ヘッドホンを接続した場合、スピーカーから音声は出力されません。

- 4 再生機器を操作して再生を開始する。

- 5 フロントパネルの VOLUME コントロールを回して (またはリモコンの VOLUME + / - を押して) 、音量を調節する。



必要に応じて、フロントパネルの BASS、TREBLE、BALANCE、LOUDNESS の各コントロールまたは PURE DIRECT スイッチでお好みの音に調節できます。

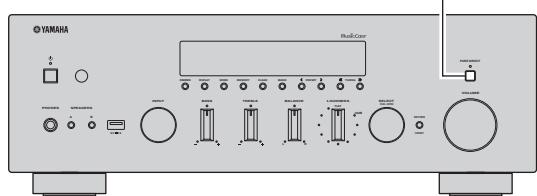
- 6 使用後は、フロントパネルの Ⓛ (電源) を押して本機の電源をオフにする。リモコンの Ⓛ (電源) を押すと本機の電源をスタンバイに切り替えできます。

■ 高品質で再生する (PURE DIRECT)

PURE DIRECT スイッチをオンにすると、音声入力信号が使用していない機能の回路をバイパスし、その回路への電源供給を停止することでノイズを低減します。そのため、すべての入力ソースにおいて、ストレートで高音質な音楽再生を楽しむことができます。

PURE DIRECT スイッチがオンのとき、インジケーターが点灯します。

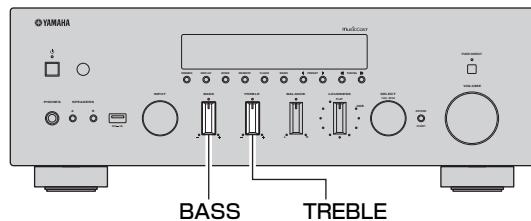
PURE DIRECT スイッチ



ご注意

- ・ PURE DIRECT スイッチをオンにすると、フロントディスプレイが消灯します。
- ・ PURE DIRECT スイッチがオンのときは BASS、TREBLE、BALANCE や LOUDNESS の各調節機能は無効になります。

■ 高音/低音を調節する



BASS/TREBLE コントロールを調節すると、高音域と低音域の特性を調節できます。中央に合わせたとき、標準的な特性になります。

BASS コントロール

低音域が弱いと感じるときは右側に回して低音を増幅できます。強すぎると感じるときは左側に回して低音を減衰させます。

設定範囲：-10dB～0～+10dB (20Hz)

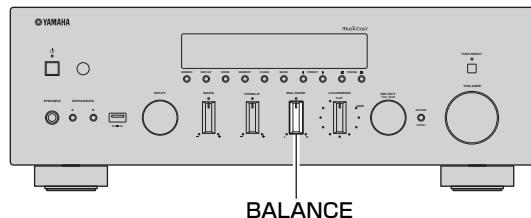
TREBLE コントロール

高音域が弱いと感じるときは右側に回して高音を増幅できます。強すぎると感じるときは左側に回して高音を減衰させます。

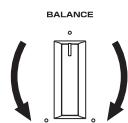
設定範囲：-10dB～0～+10dB (20kHz)



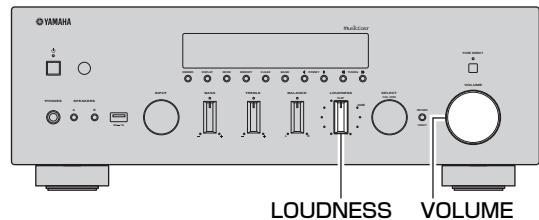
■ 左右の音量バランスを調節する



BALANCE コントロールを調節すると、左右のスピーカーの音量バランスを調節してスピーカーの位置や室内の条件による音のアンバランスを補正できます。



■ 小さい音量でも低音と高音を聴きやすくする (LOUDNESS)

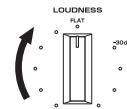


中音域の音量を下げ、音量が小さいときに低音と高音が聴こえにくくなる人間の聴感特性を補うことで、小さい音量でも自然な音を楽しむことができます。

重要

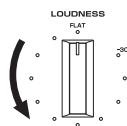
LOUDNESS を調節した後で PURE DIRECT スイッチをオンにした場合、入力信号は LOUDNESS 調節機能をバイパスするため、音量が急に大きくなります。耳やスピーカーをダメージから守るため、PURE DIRECT スイッチを押す前に LOUDNESS の状態を必ず確認し、中央の位置以外に設定されている場合は音量を下げるなどの処置をしてください。

1 LOUDNESS コントロールを中央の位置にする。



2 フロントパネルの VOLUME コントロールを回して（またはリモコンの VOLUME + / - を押して）、普段音楽をお聴きになるときの最大の音量まで上げる。

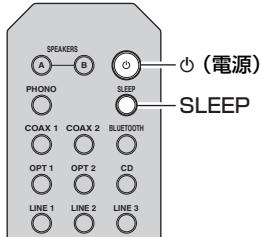
3 適度な音量になるまで、LOUDNESS コントロールを反時計回りに回す。



設定後にお好みの音量で再生した際、LOUDNESS コントロールの効果が強すぎる（または弱すぎる）ときは再度調整を行ってください。

スリープタイマーを使う

スリープタイマーを使うと、時間を設定して本機を自動的にスタンバイに切り替えできます。お休みの際に使うと便利です。



ご注意

スリープタイマーはリモコンでのみ設定できます。

1 SLEEP を繰り返し押して、スタンバイになるまでの時間を設定する。

SLEEP を押すたびに、フロントディスプレイの表示が次のように替わります。

→ Sleep 120 min → Sleep 90 min
Sleep Off ← Sleep 30 min ← Sleep 60 min ←

スリープタイマーの設定中はフロントディスプレイのインジケーターが点滅します。



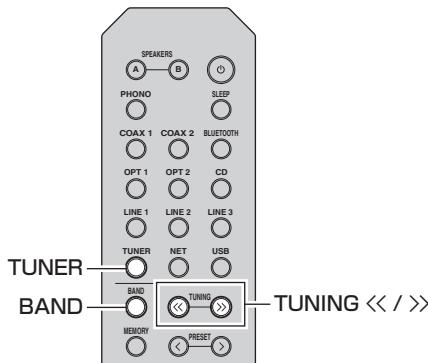
スリープタイマーがセットされると、インジケーターが点灯します。



- スリープタイマーをキャンセルするには「Sleep Off」を選択します。
- リモコンの (電源) を押して本機の電源をスタンバイにすると、スリープタイマーの設定はキャンセルされます。

FM/AMラジオを聴く

周波数を指定して選局する



- 1 TUNERを押してチューナー入力に切り替える。
- 2 BANDを繰り返し押してFM/AMを切り替える。
- 3 TUNING <> / >>を1秒以上押し続けてチューニングする。
>>を1秒以上押すと高い周波数を自動でサーチします。
<<を1秒以上押すと低い周波数を自動でサーチします。

受信している周波数はフロントディスプレイで確認できます。

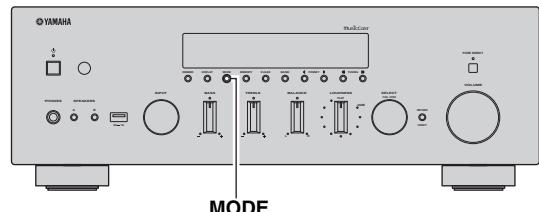
放送局を受信すると TUNED インジケーターが点灯します。ステレオで受信している場合は STEREO インジケーターも点灯します。



- 周波数のサーチが止まらない場合は受信電波が弱い可能性があります。
- FMラジオの受信が安定しない場合は、モノラル受信に切り替えると安定することがあります。

■ FMラジオの受信を安定させる(FMモード)

電波が弱く FM ラジオの受信が安定しない場合は、FM モードを切り替えてモノラル受信にすると受信が安定することがあります。



- 1 放送局の受信中に MODEを繰り返し押して、FM モード (Stereo または Mono) を選ぶ。
「Mono」を選択すると、音声がモノラルになります。

ご注意

放送局をステレオで受信している時はフロントディスプレイの STEREO インジケーターが点灯します。

ラジオ局を自動で登録する(オートプリセット)

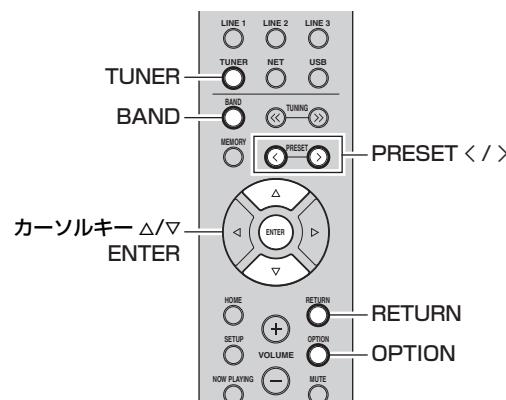
信号の強い FM ラジオ局を自動でプリセット番号に登録します (最大 40 局)。登録したラジオ局は、プリセット番号を選びただけで簡単に呼び出せます。

ご注意

- すでに登録済みの放送局があった場合、オートプリセットを実行すると設定が上書きされます。
- 登録したい放送局の電波が安定せず自動で登録されない場合は、手動で登録してください。



オートプリセットを使って登録された放送局はステレオで受信できます。



1 TUNER を押してチューナー入力に切り替える。

2 OPTION を押す。
オプションメニュー (49 ページ) が表示されます。

3 カーソルキー (△/▽) で「Auto Preset」を選び、ENTER を押す。



5 秒後にオートプリセットが始まります。すぐにオートプリセットを始める場合は、再度 ENTER を押します。

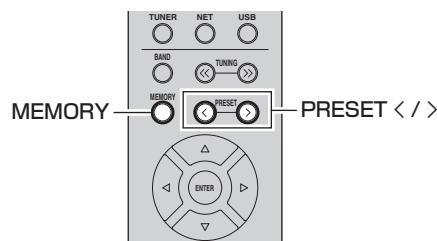


- 最初に登録するプリセット番号を指定する場合は、手順 3 を実行後 (READY が表示中) 5 秒以内に PRESET </> またはカーソルキー (△/▽) でプリセット番号を選び、ENTER を押します (または 5 秒間待ちます)。
- オートプリセットを中止するには、BAND または RETURN を押します。

オートプリセットが終わると「FINISH」と表示され、オプションメニューが自動的に終了します。

ラジオ局を手動で登録する

ラジオ局を手動で選んでプリセット番号に登録します。登録したラジオ局は、プリセット番号を選ぶだけで簡単に呼び出せます。



1 「周波数を指定して選局する」(30 ページ) の手順で、登録したいラジオ局を受信する。

2 MEMORY を 2 秒以上押し続ける。

初回はプリセット番号「01」に、2 回目以降は前回登録したプリセット番号の次の空き番号に登録されます



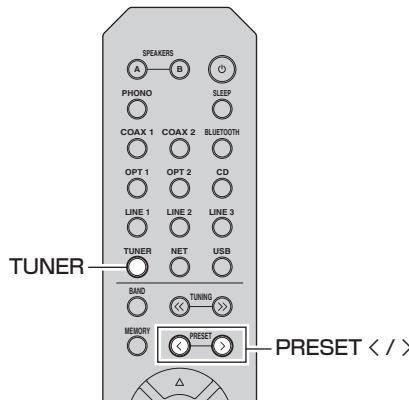
登録先のプリセット番号を指定するには、登録したいラジオ局を受信中に MEMORY を一度押します。PRESET </> でプリセット番号を選び、もう一度 MEMORY を押します。



「Empty」(空き) または現在登録されている周波数

登録したラジオ局を呼び出す

プリセット番号に登録されているラジオ局（プリセット局）の中から、聴きたいラジオ局を選びます。



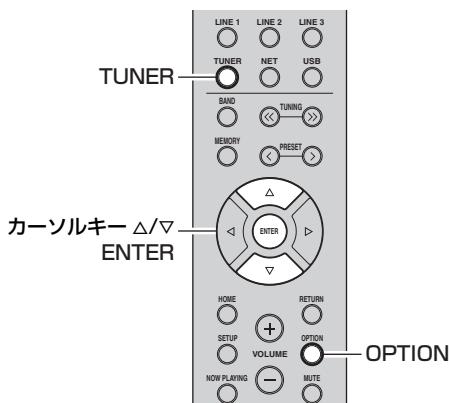
1 TUNERを押してチューナー入力に切り替える。

2 PRESET </>を押してプリセット番号を選ぶ。

- 登録されていないプリセット番号はスキップされます。
- ラジオ局が1つも登録されていない場合は、「No Presets」と表示されます。

ラジオ局の登録を解除する

プリセット番号に登録されているラジオ局（プリセット局）の登録を解除します。



1 TUNERを押してチューナー入力に切り替える。

2 OPTIONを押す。

3 カーソルキー（△/▽）で「Clear Preset」を選び、ENTERを押す。



4 カーソルキー（△/▽）で登録を解除するプリセット番号を選び、ENTERを押す。



登録を解除するプリセット番号

登録が解除されると「Cleared」と表示され、次に登録されているプリセット番号が表示されます。



5 別のプリセット番号の登録を解除するには、手順4を繰り返す。

6 終了するには、OPTIONを押す。

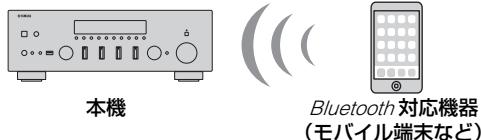
ラジオ局（プリセット局）の登録解除はフロントパネルでも操作できます。

- フロントパネルのCLEARを押す。
- PRESET </>で登録解除したいプリセット番号を選ぶ。
- SELECT/ENTERまたはCLEARを押して登録を解除する。

Bluetooth 対応機器を再生する

モバイル端末などのBluetooth対応機器に保存されている音楽ファイルを本機で再生します。

お使いのBluetooth機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ご注意

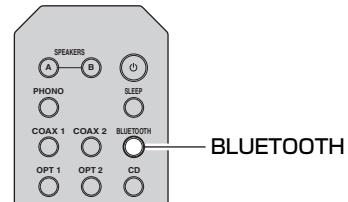
- Bluetooth機能を使用するには設定メニューの「Bluetooth」(52ページ)を「On」に設定する必要があります。
- 使用するBluetooth対応機器によっては、本機を認識できなかったり、一部の機能が使用できないことがあります。

※

モバイル端末専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使用すると、本機の音声をヘッドホンやスピーカーなどのBluetooth対応機器へ送信できます。音声を送信する際は、設定メニューの「Audio Send」(52ページ)を「On」に設定します。送信先は MusicCast CONTROLLER を使って選択してください。

Bluetooth機器を接続する (ペアリング)

Bluetooth機器を初めて本機に接続する場合は、ペアリングが必要になります。ペアリングとは、Bluetooth機器同士をあらかじめ登録することです。一度ペアリングすると、Bluetooth接続を切断してもそれ以後は簡単に再接続できます。



1 BLUETOOTHを押して入力を「Bluetooth」に切り替える。

すでに他のBluetooth機器と接続している場合は、ペアリングの前にBluetooth機器の接続を解除してください。

2 Bluetooth機器側のBluetooth機能をオンにする。

3 Bluetooth機器側でBluetooth機器の接続リストが表示されたら、リストから本機を選ぶ。

ペアリングが完了すると、フロントディスプレイに「Connected」と表示され、Bluetoothインジケーターが点灯します。



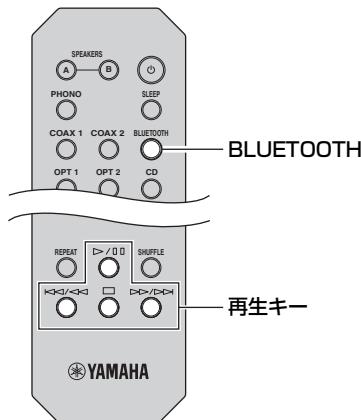
※

- パスキー(PIN)の入力を要求されたら、数字の「0000」を入力します。
- ペアリングの操作は5分以内に完了してください。
- Bluetooth機器が見つからない場合は「Not found」と表示されます。

Bluetooth機器の曲を再生する

Bluetooth 機器を接続して曲を再生します。あらかじめ次のことを確認してください。

- ・ペアリングが完了している。
- ・Bluetooth 機器の Bluetooth 機能がオンになってい



1 BLUETOOTH を押して入力を「Bluetooth」に切り替える。



以前に Bluetooth 機器を接続していた場合、入力を切り替えると、直前に接続していた機器に自動で接続されます。他の Bluetooth 機器と接続したい場合は、Bluetooth 機器の接続を解除してください。

2 Bluetooth 機器側を操作して、Bluetooth 機器を接続する。

お使いの機器の Bluetooth 機器の接続リストから本機を選びます。接続が完了すると、フロントパネルの Bluetooth インジケーターが点灯します。



Bluetooth 機器と接続できない場合は、もう一度ペアリングを行ってください。

3 Bluetooth 機器を操作して曲を再生する。



再生中は、リモコンの再生キーで Bluetooth 機器の再生操作が行えます。

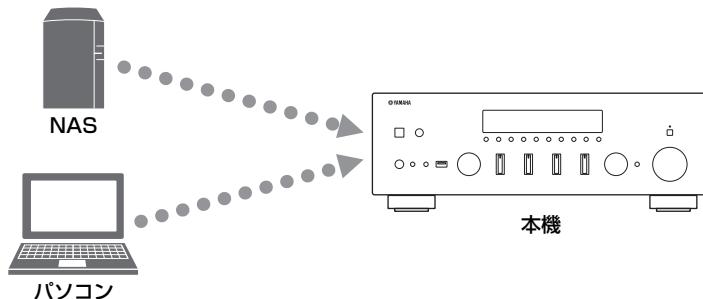
Bluetooth機器との接続を切断する

Bluetooth 機器との接続を切断するには、次のいずれかの操作を行います。

- ・Bluetooth 機器側で切断操作をする。
- ・リモコンの BLUETOOTH を 3 秒以上押す。
- ・設定メニューの「Audio Receive」(52 ページ)で「Disconnect」を選び、ENTER を押す。
- ・本機の入力を「Bluetooth」以外にする。

パソコン（サーバー）の曲を再生する

パソコンや DLNA 対応のネットワーク接続ストレージサーバー（NAS）に保存されている音楽ファイルを本機で再生します。



再生する

ご注意

- この機能を使用するには、本機とパソコン（サーバー）が同じルーターに接続されている必要があります（20 ページ）。設定メニューの「Information」（51 ページ）で、ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていることを確認できます。
- WAV (PCM フォーマットのみ)、AIFF、MP3、WMA、MPEG-4 AAC、FLAC、ALAC、DSD ファイルに対応しています。
- WAV、AIFF および FLAC ファイルは 192kHz まで、ALAC ファイルは 96kHz まで、その他のファイルは 48kHz までのサンプリング周波数に対応しています。
- DSD ファイルは 2.8MHz/5.6MHz (1bit) に対応しています。
- 音楽ファイルを再生するには、パソコン（サーバー）にインストールされているサーバーソフトが、再生したい音楽ファイルのフォーマットに対応している必要があります。



本機には、最大で 16 台のパソコン（サーバー）が接続できます。

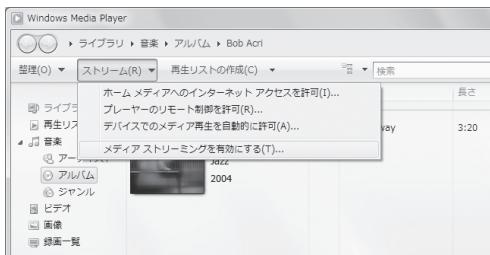
パソコン内の音楽ファイルを共有する

パソコン内の音楽ファイルを再生するには、本機とパソコン（Windows Media Player 11 以降）で音楽ファイルを共有する設定が必要です。詳しくは Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

■ Windows Media Player 12 を使う場合

1 パソコンで Windows Media Player 12 を起動する。

2 メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。

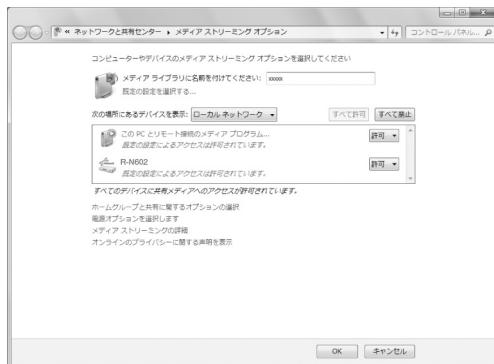


パソコンのコントロールパネル画面が表示されます。

3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。



- 4 機器名の右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。



- 5 手順4と同様に、メディアコントローラーとして使いたい機器（ほかのパソコンやモバイル端末）のアイコンを選んで「許可」をクリックする。

- 6 「OK」をクリックして設定を終了する。

■ Windows Media Player 11を使う場合

- 1 パソコンで Windows Media Player 11 を起動する。

- 2 「ライブラリ」から「メディアの共有」を選ぶ。

- 3 「メディアを共有する」をチェックし、本機のアイコンを選んで「許可」をクリックする。

- 4 「OK」をクリックして設定を終了する。

■ Windows Media Player以外のDLNAサーバーソフトがインストールされているパソコン（サーバー）

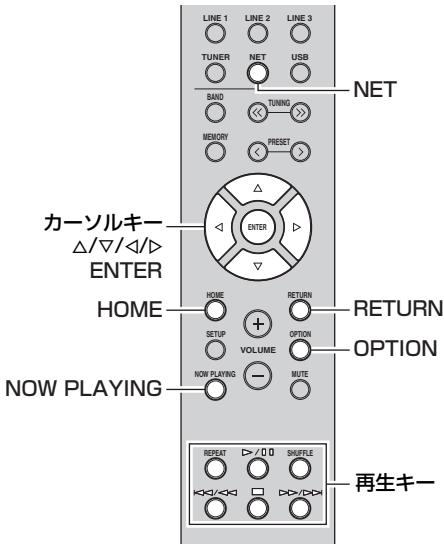
各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

パソコン（サーバー）の曲を選ぶ

パソコン（サーバー）の曲を選んで、再生を始めます。

ご注意

日本語のコンテンツ表示には対応していません。表示できない文字は、「_」（アンダーバー）で表示されます。



- 1 NET を繰り返し押して、入力を「Server」に切り替える。



- 2 カーソルキー (△/▽) でパソコン（サーバー）を選び、ENTER を押して確定する。

3 カーソルキーでコンテンツを選び、ENTER を押して確定する。

曲を選ぶと再生が始まり、再生情報が表示されます。



- 再生中の曲は本機に登録（プリセット）できます（48 ページ）。
- フロントパネルの DISPLAY を繰り返し押すと、表示される再生情報を切り替えできます（47 ページ）。

リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

使用できるリモコンキー	機能	
カーソルキー	音楽ファイルやフォルダを選択します。	
ENTER	コンテンツ選択時に押すと再生を開始します。フォルダの選択時に押すと 1 つ下の階層に移動します。	
RETURN	1 つ上の階層に移動します。	
再生キー	▷/□	再生 / 一時停止します。
	□	再生を停止します。
	◀◀ / ▶◀	再生中の曲の先頭（連続で押すと前の曲）/ 次の曲にスキップします。
	▶▶ / ▷▶	押し続けると早戻し / 早送りします。
HOME	パソコン（サーバー）の一番上の階層に移動します。	
NOW PLAYING	再生している曲の再生情報を表示します。	



DLNA 対応のデジタルメディアコントローラー（DMC）からも再生を操作できます。詳しくは設定メニューの「DMC Control」（52 ページ）をご覧ください。

■ リピート再生/シャッフル再生

パソコン（サーバー）のリピート再生およびシャッフル再生を設定します。

1 入力に「Server」が選ばれている状態で、再生キーの REPEAT または SHUFFLE を押して再生方法を選ぶ。

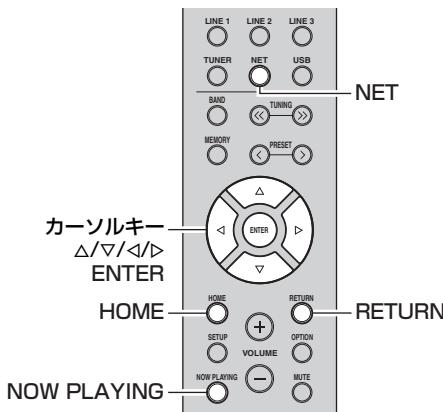
再生キー	設定	機能
REPEAT	Off	リピート再生を無効にします。
	One	現在の曲を繰り返し再生します。
	All	アルバム（フォルダー）内の曲を繰り返し再生します。
SHUFFLE	Off	シャッフル再生を無効にします。
	On	アルバム（フォルダー）内の曲をランダムに再生します。

インターネットラジオを聴く

インターネット上で配信されている世界中のインターネットラジオを本機で聴くことができます。

ご注意

- この機能を使用するには、本機がインターネットに接続されている必要があります（20 ページ）。設定メニューの「Information」（51 ページ）で、ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていることを確認できます。
- インターネットラジオ局や時間帯によっては、受信できないことがあります。
- この機能は、vTuner ラジオ局データベースサービスを利用します。
- 本サービスは事前の通知なく中止される場合があります。



- NET キーを繰り返し押して、入力を「Net Radio」に切り替える。



- カーソルキーでコンテンツを選び、ENTER を押して確定する。

インターネットラジオ局を選ぶと再生が始まり、再生情報が表示されます。



リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

使用できるリモコンキー	機能
カーソルキー △/▽/◀/▶ ENTER	インターネットラジオ局やジャンルなどのカテゴリーを選択します。
ENTER	インターネットラジオ局の選択時に押すと再生を開始します。カテゴリーの選択時に押すと 1 つ下の階層に移動します。
RETURN	1 つ上の階層に移動します。
再生キー □	再生を停止します。
HOME	カテゴリー選択の一番上の階層を表示します。
NOW PLAYING	インターネットラジオ局の再生情報を表示します。



- 再生中の曲は本機に登録（プリセット）できます（48 ページ）。
- フロントパネルの DISPLAY を繰り返し押すと、表示される再生情報を切り替えできます（47 ページ）。
- 放送局によっては一部の情報を表示できないことがあります。

お気に入りのインターネットラジオ局を登録する (ブックマーク)

Bookmarks フォルダーにお気に入りのインターネットラジオ局を登録すれば、すばやくお好みのインターネットラジオ局にアクセスできます。

1 本機でいすれかのインターネットラジオ局を再生する。

初めて登録するときに必要な操作です。

2 本機の vTuner ID を調べる。

本機のvTuner IDは設定メニューの「Information」(51 ページ) で確認できます。

3 パソコンのウェブブラウザーで vTuner ウェブサイト (<http://yradio.vtuner.com/>) にアクセスし、本機の vTuner ID を入力する。

表示言語を切り替えられます。



vTuner ID を入力します。



ブックマークの登録にはアカウント作成が必要です。電子メールアドレスを入力し、アカウントを作成してください。

4 お気に入りのインターネットラジオ局を登録する。

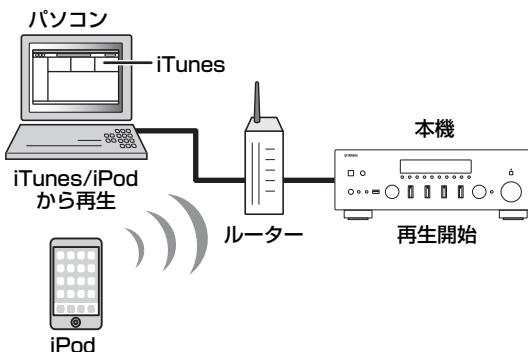
登録したいラジオ局の追加 (● +) アイコンをクリックします。



ブックマークを削除するには、Home 画面から「お気に入りグループ」を選び、削除したいラジオ局の削除 (● -) アイコンをクリックします。

AirPlayで音楽を聴く

AirPlay 機能を使って、iTunes や iPod の音楽ファイルをネットワーク経由で再生します。



ご注意

この機能を使用するには、本機とパソコンや iPod が同じルーターに接続されている必要があります（20 ページ）。設定メニューの「Information」（51 ページ）で、ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていることを確認できます。

AirPlay は iOS 4.3.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion 以降を搭載した Mac、iTunes 10.2.2 以降を搭載した Mac と PC において動作します（2015 年 8 月現在）。

iTunes/iPod で曲を再生する

本機と iTunes/iPod を操作して再生を始めます。

1 本機の電源を入れ、iTunes を起動する、または iPod の音楽再生画面を表示する。

iTunes/iPod が本機を認識すると AirPlay アイコン（）が表示されます。

 iOS7/iOS8 を搭載した iPod の場合は、コントロールセンター内に表示されます。コントロールセンターを表示するには、iPod の画面を下から上にスワイプします。



ご注意

アイコンが表示されない場合は、本機とパソコンや iPod が正しくルーターに接続されているか確認してください。

2 iTunes/iPod で AirPlay アイコンをクリック（タップ）し、音声の出力先として本機（ネットワーク名）を選択。

iTunes（表示例）



複数のスピーカー...

iPod（表示例）



本機のネットワーク名

3 iTunes/iPod を操作して曲を再生する。

本機の入力が自動的に「AirPlay」に切り替わり、再生が始まります。



- フロントパネルの DISPLAY を繰り返し押すと、表示される再生情報を切り替えできます（47 ページ）。
- 設定メニューの「Standby (Network Standby)」（52 ページ）を「On」または「Auto」に設定時は、iTunes/iPod で再生を始めると本機の電源が自動的にになります。
- iTunes/iPod に表示される本機のネットワーク名は、設定メニューの「Network Name」（52 ページ）で変更できます。
- 再生中は iTunes/iPod から本機の音量を操作できます。

注意

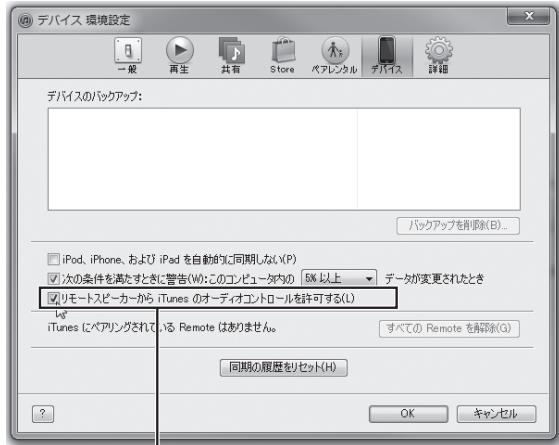
iTunes/iPod で音量を調節すると、予想外に音量が大きくなり、本機やスピーカーが故障する場合があります。再生中に音量が大きくなってしまった場合は、すぐに iTunes/iPod の再生を停止してください。

リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

使用できるリモコンキー	機能
再生キー	▷/■ 一時停止を解除して、再生を始めます。
	□ 再生を停止します。
	◀◀/◀◀ 再生中の曲の先頭（連続で押すと前の曲）/次の曲にスキップします。
	▶▶/▶▶
	REPEAT リピート再生の設定を変更します。
	SHUFFLE シャッフル再生の設定を変更します。

ご注意

本機のリモコンで iTunes を操作するには、iTunes のデバイス設定で、リモートスピーカーから iTunes のオーディオコントロールを許可する必要があります。



チェックを入れる

radiko.jpを聴く

radiko.jp は、地上波ラジオ放送を CM も含めて同時にインターネットで配信する「IP (Internet Protocol) サイマルラジオ」サービスです。放送エリアに準じた地域に配信するサービスのため、エリア（都道府県）ごとに対応している放送局が異なります。対応しているエリアや放送局については、radiko.jp のウェブページをご覧ください。

※

radiko.jp プレミアム（エリアフリー聴取）に登録すると、全国のラジオ局を受信できます。radiko.jp プレミアムを利用するには、radiko.jp のウェブサイトでプレミアム会員登録（有料）を行ってください。登録後、モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」からログイン名とパスワードを入力してください。

放送局名から選局する

モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」を使用して選局します。
「MusicCast CONTROLLER」については付属の「MusicCast セットアップガイド」をご覧ください。

USB機器の曲を再生する

USB 機器に保存されている音楽ファイルを本機で再生します。

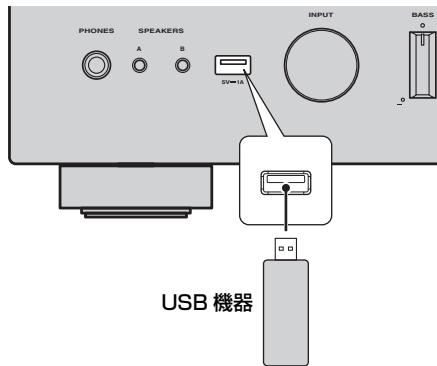
ご注意

- ・本機は、FAT16/FAT32 フォーマットの USB マスストレージクラスの機器（フラッシュメモリー、携帯音楽プレーヤーなど）に対応しています。
- ・WAV (PCM フォーマットのみ)、AIFF、MP3、WMA、MPEG-4 AAC、FLAC、ALAC、DSD ファイルに対応しています。
- ・WAV、AIFF および FLAC ファイルは 192kHz まで、ALAC ファイルは 96kHz まで、その他のファイルは 48kHz までのサンプリング周波数に対応しています。
- ・DSD ファイルは 2.8MHz/5.6MHz (1bit) に対応しています。
- ・USB マスストレージクラス以外の機器 (USB チャージャー、USB ハブなど)、パソコン、カードリーダー、外付けハードディスクを接続しないでください。
- ・暗号化機能がある USB 機器は使用できません。
- ・DRM (デジタル著作権管理) により保護されたファイルは再生できません。
- ・USB 機器のメーカーと種類により、USB 機器が本機に認識されない場合や一部の機能が使えない場合があります。

USB機器を接続する

1 USB 機器を USB 端子に接続する。

本機 (フロントパネル)



ファイル数が多いと読み込みに時間がかかることがあります。この場合、フロントディスプレイに「Loading...」と表示されます。

ご注意

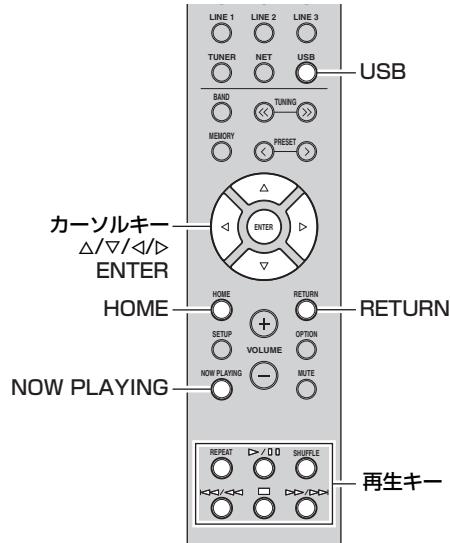
- ・USB 機器は再生を停止させてから取り外してください。
- ・USB 機器は直接本機の USB 端子に接続してください。延長ケーブルなどは使わないでください。
- ・パソコンは本機の USB 端子に接続できません。

USB機器の曲を選ぶ

USB 機器の曲を選んで、再生を始めます。

ご注意

日本語のコンテンツ表示には対応していません。表示できない文字は、「_」(アンダーバー) で表示されます。



1 USB を押して入力を「USB」に切り替える。



2 カーソルキーでコンテンツを選び、ENTER を押して確定する。

曲を選ぶと再生が始まり、再生情報が表示されます。



また

- フロントパネルの DISPLAY を繰り返し押すと、表示される再生情報を切り替えできます (47 ページ)。
- 再生中の曲は本機に登録 (プリセット) できます (48 ページ)。

リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

使用できるリモコンキー	機能
カーソルキー	音楽ファイルやフォルダを選択します。
ENTER	音楽ファイルの選択時に押すと再生を開始します。フォルダの選択時に押すと 1 つ下の階層に移動します。
RETURN	1 つ上の階層に移動します。
再生キー	▷/□ 再生 / 一時停止します。
	□ 再生を停止します。
	◀◀ / ▶▶ 再生中の曲の先頭 (連続で押すと前の曲) / 次の曲にスキップします。
HOME	USB 機器の一番上の階層に移動します。
NOW PLAYING	再生している曲の再生情報を表示します。

■ リピート再生 / シャッフル再生

USB 機器のリピート再生およびシャッフル再生を設定します。

1 入力に「USB」が選ばれている状態で、再生キーの REPEAT または SHUFFLE を押して再生方法を選ぶ。

再生キー	設定	機能
REPEAT	Off	リピート再生を無効にします。
	One	現在の曲を繰り返し再生します。
	All	アルバム (フォルダー) 内の曲を繰り返し再生します。
SHUFFLE	Off	シャッフル再生を無効にします。
	On	アルバム単位でランダムに再生します。

iPodの曲を再生する

iPod 付属の USB ケーブルを使って、iPod の曲を本機で再生します。

ご注意

使用する iPod によっては、本機が認識しない場合や一部機能が仕様できないことがあります。

対応 iPod (2015 年 8 月現在)

Made for.

- iPod touch (2nd, 3rd, 4th and 5th generation)
- iPod nano (2nd, 3rd, 4th, 5th, 6th and 7th generation)
- iPhone 6, iPhone 6 Plus, iPhone 5s, iPhone 5c, iPhone 5, iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS, iPhone 3G

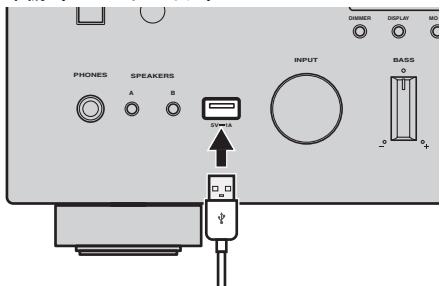
iPod を接続する

iPod 付属の USB ケーブルを使って、iPod を本機に接続します。

1 USB ケーブルを iPod に接続する。

2 USB ケーブルを USB 端子に接続する。

本機 (フロントパネル)



設定メニューの「Standby (Network Standby)」(52 ページ) を「Off」に設定時は、iPod の充電中に本機をスタンバイにすると、最大 4 時間まで充電を続けます。

ご注意

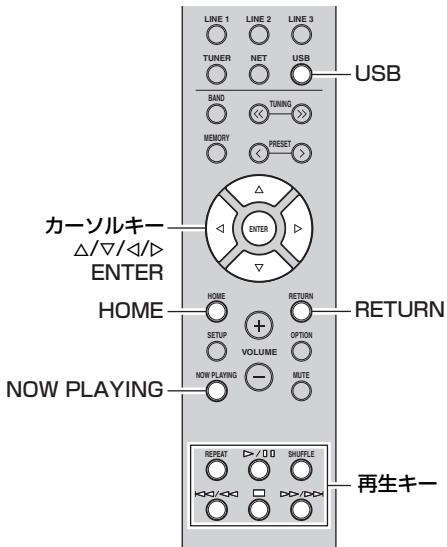
iPod を使用していないときは、USB 端子から取り外してください。

iPod の曲を選ぶ

iPod の曲を選んで、再生を始めます。

ご注意

日本語のコンテンツ表示には対応していません。表示できない文字は、「_」(アンダーバー) で表示されます。



1 USB を押して入力を「USB」に切り替える。



2 カーソルキーでコンテンツを選び、ENTER で確定する。

曲を選ぶと再生が始まり、再生情報が表示されます。



※

- ・フロントパネルの DISPLAY を繰り返し押すと、表示される再生情報を切り替えできます (47 ページ)。
- ・iPod 本体で操作するには、シンプル再生 (46 ページ) に切り替えます。

iPod の曲を再生する

リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

使用できるリモコンキー	機能
カーソルキー	音楽ファイルやアルバム、ジャンルなどを選択します。
ENTER	音楽ファイルの選択時に押すと再生を開始します。アルバムやジャンルの選択時に押すと、1つ下の階層に移動します。
RETURN	1つ上の階層に移動します。
再生キー	▷/□ 再生 / 一時停止します。
	□ 再生を停止します。
	◀◀ / ▶▶ 再生中の曲の先頭（連続で押すと前の曲）/ 次の曲にスキップします。押し続けると早戻し / 早送りします。
	▶▶ / ▶▶
HOME	iPodの一番上の階層に移動します。
NOW PLAYING	再生している曲の再生情報を表示します。

■ リピート再生 / シャッフル再生

iPodのリピート再生およびシャッフル再生を設定します。

- 1 入力に「USB」が選ばれている状態で、再生キーの REPEAT または SHUFFLE を押して再生方法を選ぶ。

再生キー	設定	機能
REPEAT	Off	リピート再生を無効にします。
	One	現在の曲を繰り返し再生します。
	All	すべての曲を繰り返し再生します。
SHUFFLE	Off	シャッフル再生を無効にします。
	Songs	曲をランダムに再生します。
	Albums	アルバム単位で曲をランダムに再生します。



シャッフル再生 / リピート再生の動作や表示は使用する iPod によって異なります。

■ iPod 本体またはリモコンで操作する（シンプル再生）

- 1 フロントパネルの MODE を押してシンプル再生に切り替える。

シンプル再生に切り替わると、フロントディスプレイには入力名のみ表示されます。再生情報は iPod の画面をご覧ください。



シンプル再生を終了するには、もう一度 MODE を押します。

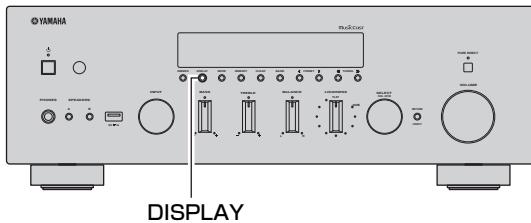
- 2 iPod 本体またはリモコンでコンテンツを選び、再生を始める。

シンプル再生時は、リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

使用できるリモコンキー	機能
カーソルキー	コンテンツを選びます。
ENTER	選択を確定します。
RETURN	1つ前の表示に戻します。
再生キー	▷/□ 再生 / 一時停止します。
	□ 再生を停止します。
	◀◀ / ▶▶ 再生中の曲の先頭（連続で押すと前の曲）/ 次の曲にスキップします。押し続けると早戻し / 早送りします。
	▶▶ / ▶▶

フロントディスプレイの表示を切り替える

入力が「NET」または「USB」のときは、フロントディスプレイに表示される再生情報を切り替えできます。



1 DISPLAY を押す。

キーを押すたびに表示される情報が切り替わります。



3秒経過すると、元の表示に戻ります。



入力ソース	項目
Bluetooth Server AirPlay USB (iPod を含む)	Track (曲名)、 Artist (アーティスト)、 Album (アルバム名)、 Time (時間)
Net Radio	Track (曲名)、 Album (アルバム名)、 Time (時間)、Station (放送局名)

ご注意

前面ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。漢字やひらがな、カタカナ、特殊記号は表示されません。表示できない文字は、「_」で表示されます。

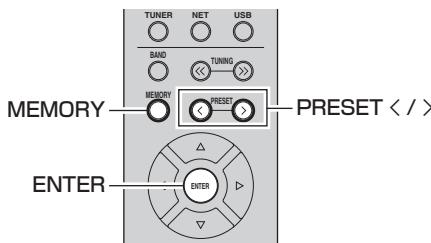
再生中の曲/放送局を登録する（プリセット機能）

ネットワーク入力または USB 入力の選択時は、再生している曲やインターネット放送局を最大 40 種類まで登録できます。

登録された曲 / 放送局はプリセット番号を指定して簡単に呼び出すことができます。

プリセット可能な入力ソース：

Server、USB（iPod 接続時を除く）、Net Radio、radiko.jp



登録した曲/放送局を呼び出す

- 1 曲 / 放送局を登録した入力を選ぶ。
- 2 PRESET </> でプリセット番号を選ぶ。
- 3 ENTER を押して呼び出しを実行する。

曲/放送局を登録する

1 登録したい曲またはインターネット放送局を再生する。

2 MEMORY を 3 秒以上押す。

初回はプリセット番号「01」に、2 回目以降は前回登録したプリセット番号の次の空き番号に登録されます。

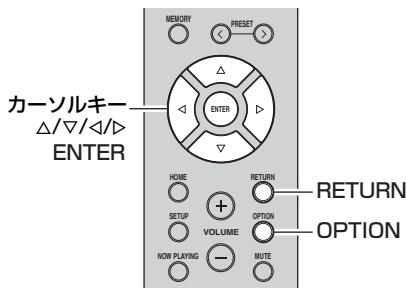


※
プリセット番号を指定したい場合は、PRESET </> またはカーソルキー（</>）で登録するプリセット番号を選択できます。

3 登録するには、もう一度 MEMORY を押す。

再生ソースに合わせて設定する（オプションメニュー）

再生中のソースにあわせて、再生関連の機能を設定します。必要なときに簡単に設定を変更できます。



1 OPTION を押す。



2 カーソルキーで設定項目を選び、ENTER を押す。

メニューオペレーション中、1つ前の画面に戻るには RETURN を押します。

3 カーソルキー（◀/▶）で設定値を選ぶ。

4 終了するには、OPTION を押す。

オプションメニュー項目

入力ソースによって設定項目は異なります。

項目	機能	ページ
Volume Trim	入力間の音量差を微調整します。	49
Signal Info.	音声信号に関する情報を確認します。	49
Auto Preset	FM ラジオ局を自動でプリセット番号に登録します。	30
Clear Preset	プリセット番号に登録されているラジオ局（プリセット局）の登録を解除します。	32
Vol.Interlock (Volume Interlock)	AirPlay 入力選択時に、本機と iTunes/iPod の音量を連動させるかどうかを設定します。	49

■ Volume Trim

入力間の音量差を補正します。入力切替時に音量の増減が気になる場合は、この設定を使って調節してください。

入力ごとに設定できます。

設定値

-10.0dB ~ 0.0dB ~ +10.0dB

初期値

0.0dB

■ Signal Info.

音声信号に関する情報を確認します。

選択項目

FORMAT	入力信号の音声フォーマット
SAMPLING	入力デジタル信号の 1 秒あたりのサンプル数

表示項目を切り替えるには、カーソルキー（△/▽）を繰り返し押します。

■ Vol.Interlock (Volume Interlock)

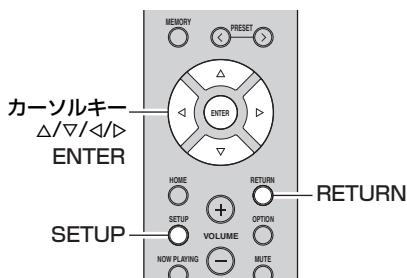
AirPlay 入力選択時に、本機と iTunes/iPod の音量を連動させるかどうかを設定します。

設定値

Off	iTunes/iPod からの音量操作を無効にします。
Ltd (初期値)	Mute および -80dB ~ -20dB の範囲で iTunes/iPod からの音量操作を有効にします。
Full	Mute および -80dB ~ +16.5dB の範囲で iTunes/iPod からの音量操作を有効にします。

詳細機能を設定する (設定メニュー)

本機の詳細機能を設定します。



1 SETUP を押す。



2 カーソルキー (△/▽) でメニューを選ぶ。



3 ENTER を押す。



4 カーソルキー (◀/▶) で設定値を選び、ENTER を押す。

メモ
メニュー操作中、1つ前の表示に戻るには RETURN を押します。

5 終了するには、SETUP を押す。

設定メニュー項目

項目	機能	ページ
Network	Connection ネットワークへの接続方法を設定します。	51
	Information 本機のネットワーク情報を表示します。	51
	IP Address ネットワーク情報(IPアドレスなど)を設定します。	51
	DMC Control DLNA 対応のデジタルメディアコントローラー(DMC)からの操作を有効/無効にします。	52
	Standby (Network Standby) ネットワーク機器から本機の電源を入れる機能(ネットワークスタンバイ)を有効/無効にします。	52
	Network Name ネットワークに表示される本機の名称を設定します。	52
Bluetooth	Update (Network Update) 本機のファームウェアをネットワーク経由で更新します。	52
	On/Off Bluetooth機能の有効/無効を切り替えます。	52
	Standby (Bluetooth Standby) Bluetooth対応機器から本機の電源を入れる機能(Bluetoothスタンバイ)を有効/無効にします。	52
	Audio Receive Bluetooth対応機器からの受信に関する設定を行います。	52
	Audio Send Bluetooth対応スピーカー/ヘッドホンへの音声配信設定を行います。	53
Max Volume	調節可能な音量の上限値を設定します。	53
Initial Volume	電源を入れたときの音量を設定します。	53
AutoPowerStdby (Auto Power Standby)	本機を指定時間操作しなかったときに電源を自動的にスタンバイにします。	53
ECO Mode	エコモード(消費電力の節約)を有効/無効にします。	53

Network

本機のネットワーク関連機能を設定します。

■ Connection

ネットワークへの接続方法を設定します。

Wired	市販のネットワークケーブルを使って、本機をネットワークに接続する場合に選択します（20 ページ）。
Wireless	無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を経由して、本機をネットワークに接続する場合に選択します（22、23、24 ページ）。
WirelessDirect	モバイル端末を本機に直接接続する場合に選択します。詳しくは「モバイル端末を本機に直接接続する（ワイヤレスダイレクト）」（25 ページ）をご覧ください。
Extend	MusicCast ネットワークへの接続状態を表示します。

■ Information

本機のネットワーク情報を表示します。

NEW FW Available	新しいファームウェアが利用できる場合に表示されます（56 ページ）。
STATUS	ネットワークへの接続状態を表示します。
MC NET	MusicCast ネットワークの状態を表示します。「Ready」と表示された場合は MusicCast CONTROLLER が使用できます。
MAC	本機の MAC アドレス（有線 LAN 接続または無線 LAN/ワイヤレスダイレクト接続によって MAC アドレスが変わります）
SSID	本機の SSID（無線 LAN 接続またはワイヤレスダイレクト接続時のみ）
IP	本機の IP アドレス
SUBNET	サブネットマスク
GATEWAY	デフォルトゲートウェイの IP アドレス
DNS P	プライマリー DNS サーバーの IP アドレス
DNS S	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレス
VTUNER	インターネットラジオ（vTuner）の ID

■ IP Address

ネットワーク情報（IP アドレスなど）を設定します。

DHCP

DHCP サーバーを使用するかどうかを設定します。

Off	DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定します。詳しくは下記「ネットワークの手動設定」をご覧ください。
On（初期値）	DHCP サーバーを使用して、本機のネットワーク情報（IP アドレスなど）を自動的に取得します。

ネットワークの手動設定

1 「DHCP」を「Off」に設定する。

2 カーソルキー（△/▽）で設定したい項目を選ぶ。

IP	IP アドレスを設定します。
SUBNET	サブネットマスクを設定します。
GATEWAY	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。
DNS P	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
DNS S	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを設定する。

3 カーソルキー（◀/▶）で編集したい設定値を表示する。



カーソルキー（◀/▶）で IP アドレスの編集するセグメントを選択できます。

4 カーソルキー（△/▽）で数値を変更する。

5 終了するには、SETUP を押す。

■ DMC Control

DLNA 対応のデジタルメディアコントローラー (DMC) からの操作を有効 / 無効にします。

設定値

Disable	DMC からの操作を無効にする。
Enable (初期値)	DMC からの操作を有効にする。



デジタルメディアコントローラー (DMC) とは、ネットワーク上でほかの機器を制御できる機器のことです。この機能を有効にすると、本機と同じネットワーク上にある DMC (Windows Media Player 12 など) から直接本機の再生を操作できます。

■ Standby (Network Standby)

ネットワーク機器から本機の電源を入れる機能 (ネットワークスタンバイ) を有効 / 無効にします。

設定値

Off	ネットワークスタンバイを無効にします。
On	ネットワークスタンバイを有効にします。「オフ」に設定時よりも電力を消費します。
Auto (初期値)	ネットワークスタンバイを有効にします。ネットワークに未接続の場合は、自動で無効になります。

■ Network Name

ネットワークに表示される本機の名称 (ネットワーク名) を設定します。

1 「Network Name」を選択する。



2 ENTER を押して編集画面を表示する。



3 カーソルキー (</>) で変更したい位置を選び、カーソルキー (</>) で文字を変更する。



PRESET > で文字の挿入、PRESET < で文字の削除が行えます。

4 新しい名前を確定するには ENTER を押す。

5 終了するには、SETUP を押す。

■ Update (Network Update)

本機のファームウェアをネットワーク経由で更新します。

Perform Update	ファームウェア更新を実行します。詳しくは「ネットワーク経由で本機のファームウェアを更新する」(56 ページ) をご覧ください。
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
ID	本機のシステム ID 番号を表示します。

Bluetooth

本機の Bluetooth 機能を設定します。

■ On/Off

Bluetooth 機能の有効 / 無効を切り替えます。

Off	Bluetooth 機能を無効にします。
On (初期値)	Bluetooth 機能を有効にします。「On」に切り替えた直後は、ネットワーク入力の音声が一時停止します。

■ Standby (Bluetooth Standby)

Bluetooth 機器から本機の電源を入れる機能 (Bluetooth スタンバイ機能) を有効 / 無効にします。「On」を選択した場合、本機がスタンバイでも Bluetooth 接続した機器を操作すると電源がオンになります。

Off	Bluetooth スタンバイ機能を無効にします。
On (初期値)	Bluetooth スタンバイ機能を有効にします（「Off」選択時より待機消費電力が高くなります）。



「Standby (Network Standby)」(52 ページ) が「Off」のときは設定が表示されません。

■ Audio Receive

Bluetooth 対応機器からの受信に関する設定を行います。

Disconnect	接続された Bluetooth 対応機器を接続解除します。リモコンの ENTER を押すと、接続解除を実行します。
------------	---

■ Audio Send

MusicCast に対応した Bluetooth スピーカー / ヘッドホンへの音声配信設定を行います。

Off (初期値) 音声配信を無効にします。

On 音声配信を有効にします。音声配信の設定は、モバイル端末専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使って行います。

Max Volume

調節可能な音量の上限値を設定します。

設定範囲

– 30dB ~ +15.0dB / +16.5dB (5dB 単位)

初期値

+16.5dB

Initial Volume

電源を入れたときの音量を設定します。

設定範囲

Off, Mute, – 80.0dB ~ +16.5dB (0.5dB 単位)

初期値

Off

AutoPowerStdby (Auto Power Standby)

オートパワースタンバイ機能の有効 / 無効を設定します。「On」に設定時は、本機を指定時間操作しなかったときに電源を自動でスタンバイにします。

Off (初期値) オートスタンバイ機能を無効にします。

On オートスタンバイ機能を有効にします。NET、BLUETOOTH、USB の各入力の選択時は、20 分間再生されない状態が続くと自動でスタンバイに切り替わります。いずれの入力を選択時でも、8 時間未操作が続くと自動でスタンバイに切り替わります。



自動的にスタンバイになる直前、フロントパネルに「AutoPowerStdby」と表示され、スタンバイに切り替わるまでの秒数が表示されます。

ECO Mode

エコモード（消費電力の節約）を有効 / 無効にします。有効にすると、本機の消費電力を低減できます。設定を変更した場合は、ENTER を押して必ず本機を再起動してください。新しい設定は再起動後に反映されます。

Off (初期値) エコモードを無効にします。

On エコモードを有効にします。

ご注意

設定を「On」にすると、フロントディスプレイの表示が暗くなることがあります。

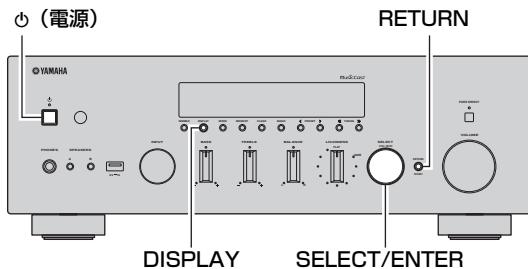
設定する

システム設定を変更する（アドバンストセットアップメニュー）

本機のシステム設定を変更します。

1 本機の電源が入っている場合は、電源をオフにする。

2 フロントパネルの RETURN を押しながら \diamond （電源）を押す。



3 SELECT/ENTER を回して設定項目を選ぶ。

4 SELECT/ENTER を押して設定値を選ぶ。

5 \diamond （電源）で、電源をオフにしてから再度電源を入れる。

設定変更が反映されます。

アドバンストセットアップメニュー項目

項目	説明	ページ
SP IMP.	スピーカーインピーダンスの設定を切り替えます。	54
REMOTE ID	本体側のリモコンIDを変更します。	54
INIT	設定を初期化します。	54
UPDATE	ファームウェアを更新します。	55
VERSION	本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。	55

スピーカーインピーダンスの切り替え（SP IMP.）

SP IMP. . . . 4ΩMIN

接続しているスピーカーのインピーダンスに合わせて本機の設定を変更します。

設定値

4ΩMIN インピーダンスが4Ω～6Ω未満のスピーカーを本機に接続している場合に選択します。

6ΩMIN インピーダンスが6Ωのスピーカーを本機に接続している場合に選択します。（初期値）

リモコンIDの変更（REMOTE ID）

複数のレシーバーを同じ部屋でご使用の場合、一方のリモコンIDをID1以外、本機のリモコンIDをID1に固定すると、リモコンの混信を防ぐことができます。

REMOTE ID=AUTO

設定値

ID1、AUTO（初期値）

設定の初期化（INIT）

INIT. CANCEL

本機の各種設定を初期化します。

選択項目

ALL すべての設定を初期化します。

NETWORK ネットワーク、USBおよびBluetoothのすべての設定を初期化します。初期化を実行すると、NET/USB入力で登録したプリセット（48ページ）もクリアされます。

CANCEL 初期化しない。

ファームウェアの更新 (UPDATE)

UPDATE・NETWORK

機能の追加や不具合の改善に応じて、ファームウェアが更新されることがあります。ファームウェアは弊社ウェブサイトからダウンロードできます。詳しくは、ファームウェア更新時に提供される情報をご確認ください。

■ ファームウェアの更新手順

ファームウェア更新時以外は実行しないでください。また実行前に、更新時に提供される情報を必ずご確認ください。

- 1 SELECT/ENTER を繰り返し押して「USB」または「NETWORK」を選び、DISPLAY を押して更新を実行する。

選択項目

USB	USB メモリーを使ってファームウェアを更新します。
NETWORK	ネットワーク経由でファームウェアを更新します。



ネットワーク上に新しいファームウェアがある場合は、設定メニューの「Information」を表示したときに「NEW FW Available」と表示されます。この状態からファームウェアを更新することも可能です（56 ページ）。

ファームウェアバージョンの確認 (VERSION)

VERSION...xx,xx

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

※

- ・設定メニューの「Update (Network Update)」（52 ページ）でファームウェアのバージョンを確認することもできます。
- ・ファームウェアのバージョンが表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。

ネットワーク経由で本機のファームウェアを更新する

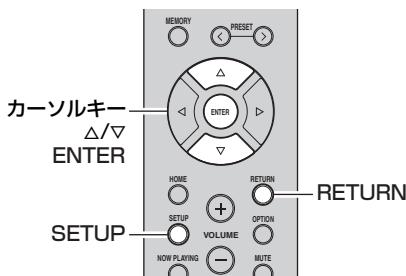
機能の追加や不具合の改善に応じて、新しいファームウェアが提供されることがあります。本機がインターネットに接続されている場合、ネットワークから最新のファームウェアをダウンロードして、ファームウェアを更新できます。

注意

- ・ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。所要時間は約 20 分です（インターネット回線の速度により異なります）。
- ・インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。そのような場合は、時間をおいてアップデートをお試しいただくか、USB メモリーを使ってファームウェアを更新してください（55 ページ）。



「アドバンスドセットアップメニュー」（55 ページ）では USB メモリーを使ってファームウェアを更新することもできます。



6 ファームウェアを更新するには、ENTER を押す。

ファームウェアの更新が開始されます。



ファームウェアの更新をキャンセルしたい場合は SETUP を押して設定メニューを終了させてください。

7 フロントパネルに「UPDATE SUCCESS」と表示されたら、△ (電源) を押して電源をオフにする。

これでファームウェアの更新は完了です。

1 SETUP を押す。

2 カーソルキー (△/▽) を使って「Network」を選び、ENTER を押す。

3 カーソルキー (△/▽) を使って「Information」を選び、ENTER を押す。

ファームウェアの更新が可能な場合、フロントディスプレイに「NEW FW Available」と表示されます。



4 RETURN を押して 1 つ前の表示に戻す。

5 カーソルキー (△/▽) を使って「Update」を選び、ENTER を押す。



故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。

対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

■ 全般

症状	原因	対策	ページ
電源が入らない。	保護回路が3回続けて作動した(この状態で電源を入れようすると、フロントパネルのスタンバイ/オンインジケーターが点滅します)。	製品保護のため電源が入らなくなります。ヤマハ修理ご相談センターに修理をご依頼ください。	—
	電源ケーブルのプラグが接続されていない、またはきちんと接続されていない。	電源ケーブルのプラグがコンセントに接続されているか確認してください。	—
	スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入れた。	スピーカーケーブルの芯線をしっかりとよじり、本機とスピーカーに接続し直してから電源を入れ直してください。	18
	外部電気ショック(落雷、過度の静電気など)や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。	本機の電源をオフにして電源ケーブルのプラグを抜き、15秒以上経過してから本機を使用してください。	—
電源がオフにならない。	外部電気ショック(落雷、過度の静電気など)や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。	本機の電源をオフにして電源ケーブルのプラグを抜き、15秒以上経過してから本機を使用してください。	—
音が出ない。	本機と再生機器を接続しているケーブルが正しく接続されていない。	接続を確認のうえ問題がなければ、別のケーブルに交換してください。	17
	別の入力が選択されている。	入力選択キーで正しい入力を選んでください。	15
	SPEAKERS A/Bスイッチが正しくセットされてない。	スピーカーを接続した端子に対応するスイッチ(SPEAKERS AまたはB)を押してスピーカー出力をオンにしてください。	15
	スピーカーケーブルが正しく接続されていない。	スピーカーケーブルの接続を確認してください。	18
	音声がミュートされている。	ミュートを解除してください。	15
	最大音量の設定または電源オン時の音量設定が低く設定されている。	設定メニューの「Max Volume」および「Initial Volume」の設定を確認してください。	50
	外部機器の電源がオフになっている、または再生していない。	外部機器の電源をオンにして再生操作を行ってください。	—
	デジタル入力(OPTICALまたはCOAXIAL)の選択時、外部機器からPCM以外のデジタル音声が出力されている。	外部機器の出力をPCMに変更してください。	—

症状	原因	対策	ページ
突然音が出なくなった。	スピーカーケーブルのショートなどにより、保護回路が作業した。	スピーカーインピーダンスが正しく設定されているか確認してください。	54
	本機がオーバーヒートした。	スピーカーケーブルがショートしていないことを確認し、再度電源をオンにしてください。	18
	オートスタンバイ機能により、本機の電源がスタンバイになった。	本体上面の通気口がふさがれていないか確認してください。	—
片側のチャンネルの音がほとんど出ない。	スピーカーケーブルが正しく接続されていない。	オートスタンバイ機能（設定メニューの「AutoPowerStdby」）をオフに設定してください。	53
	BALANCEコントロールが極端な位置に設定されている。	スピーカーから音が出るようにBALANCEコントロールを調節してください。	28
低音の音がおかしい。	スピーカーケーブルの+と-が逆に接続されている。	スピーカーケーブルの+と-を正しく接続してください。	18
ハム音が出る。	ステレオピンケーブルが正しく接続されていない。	ステレオピンケーブルを正しく接続してください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	17
	レコードプレーヤーのアースがGND端子に接続されていない。	アース線を本機のGND端子に接続してください。	17
レコードの再生音が小さい。	MCカートリッジが装着されたレコードプレーヤーで再生している。	レコードプレーヤーをMCヘッドアンプを介して接続してください。	—
本機に接続しているCDプレーヤーにヘッドホンを接続して聴いていると、音が歪む。	本機の電源がオフまたはスタンバイになっている。	本機の電源を入れてください。	—
音量が小さい。	LOUDNESSコントロールを調節している。	VOLUMEコントロールで音量を下げてから、LOUDNESSコントロールを中央の位置に戻し、音量を再調節してください。	28

■ チューナー

症状	原因	対策	ページ
FM	FMラジオの受信感度が悪い、雑音が入る。	市販の屋外アンテナを使用してください。多素子アンテナをおすすめします。	19
		オプションメニューの「FM モード」を「モノラル」に設定して、モノラル放送に切り替えてください。	30
FM	FM専用アンテナを使用しているが、音が歪むなど受信感度が悪い。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。	—
	自動選局できない。	FM専用アンテナを使用してください。 手動で選局してください。	19 30

症状		原因	対策	ページ
FM/ AM	NO PRESET と表示される。	FM/AM 放送局が登録されていない。	聴きたいFM/AM放送局を手動で登録してください。	31
AM	自動選局できない。	電波が弱い、またはアンテナがしっかりと接続されていない。	AM アンテナの接続を確認し、最も受信状態が良い方向へアンテナを向けてください。	—
	ラジオ局が登録できない。	AM 放送局を自動で登録しようとしている。	AM ラジオではオートプリセットは使用できません。手動で登録してください。	31
	ジー、ザー、ガリガリなどの雑音が出る。	雷、蛍光灯、モーター、サーモスタット付きの電気器具などから出る雑音を拾っている。	雑音を出している電気器具を本機から離してください。	—
	ブンブンという騒音やうねり音が入る。	本機の近くでテレビを使用している。	本機とテレビを離して設置してください。	—

■ Bluetooth

症状		原因	対策	ページ
Bluetooth 接続ができない。	本機のBluetooth機能がオフになっている。	設定メニューで本機の Bluetooth 機能をオンにしてください。	52	
	別のBluetooth機器がすでに接続されている。	設定メニューで接続中の機器をいったん切断してから、接続してください。	52	
	本機とBluetooth機器の距離が離れすぎている。	本機と Bluetooth 機器の距離を 10m 以内にして接続してください。	—	
	2.4GHz 帯の電磁波を発するもの(電子レンジ、無線 LAN 機器など)がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。	—	
	Bluetooth 機器が A2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。	—	
	20 台以上の Bluetooth 機器とペアリングしたために、ペアリング情報が削除された。	再度ペアリングしてください。 本機は受信 / 送信合わせて最大 20 台の Bluetooth 機器とペアリングが可能ですが、21 台目を登録すると、接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が削除されます。	—	
音が出ない、または音が途切れる。	Bluetooth機器の音量が最小になっている。	Bluetooth 機器の音量を上げてください。	—	
	Bluetooth 機器が Bluetooth 信号を本機に送っていない。	Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が正しく設定されているか確認してください。	—	
	Bluetooth機器との接続が切断された。	接続し直してください。	33	
	本機と Bluetooth 機器の距離が離れすぎている。	本機と Bluetooth 機器の距離を 10m 以内にして再生してください。	—	
	2.4GHz 帯の電磁波を発するもの(電子レンジ、無線 LAN 機器など)がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。	—	

■ USB/ネットワーク

症状	原因	対策	ページ
USB 機器が認識されない。	USB 機器が USB 端子に正しく接続されていない。	本機の電源を切り、USB 機器を接続し直してください。	—
	FAT16/32 フォーマット以外の USB 機器を使用している。	FAT16/32 フォーマットの USB 機器を使用してください。	—
USB 機器のフォルダーやファイルが表示されない。	暗号化機能により USB 機器内のデータが保護されている。	暗号化機能のない USB 機器を使用してください。	—
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報 (IP アドレス) が正しく取得されていない。	ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機の設定メニューで「DHCP」を「On」に設定してください。DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定する場合は、本機の IP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないようにしてください。	51
無線 LAN ルーター (アクセスポイント) に接続できない。	無線 LAN ルーター (アクセスポイント) の電源が切れている。	無線 LAN ルーター (アクセスポイント) の電源を入れてください。	—
	本機と無線 LAN ルーター (アクセスポイント) の距離が離れすぎている。	本機と無線 LAN ルーター (アクセスポイント) を近づけてください。	—
	本機と無線 LAN ルーター (アクセスポイント) の間に障害物がある。	本機または無線 LAN ルーター (アクセスポイント) を移動し、機器間に障害物がなくなるように設置してください。	—
無線ネットワークが見つからない。	電子レンジや別の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。	それらの機器の電源を切るか、本機や無線 LAN ルーター (アクセスポイント) から遠ざけてください。	—
	無線 LAN ルーター (アクセスポイント) のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	無線 LAN ルーター (アクセスポイント) のファイアウォール設定をご確認ください。	—
パソコンが検出されない。	メディアの共有設定が正しくない。	本機がパソコンのフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください。	35
	セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	セキュリティソフトの設定をご確認ください。	—
	本機とパソコンが同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。	20
サーバー (パソコン /NAS) のファイルが再生されない。	本機またはサーバーが非対応のファイル形式を使用している。	本機およびサーバーが対応しているファイル形式を使用してください。本機が対応している音楽ファイルについては「パソコン (サーバー) の曲を再生する」をご覧ください。	35

症状	原因	対策	ページ
インターネットラジオを再生できない。	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。	—
	選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できても音はでません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。	—
	ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。	—
AirPlay 使用時に、iPod で本機が検出されない。	マルチ SSID 対応ルーターを使用している。	ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iPod を接続する際は、本機へのアクセスが可能なSSIDをお使いください(プライマリ SSIDへの接続をお試しください)。	—
ネットワーク経由によるファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。または USB メモリーを使ってファームウェアを更新してください。	56

■ リモコン

症状	原因	対策	ページ
リモコンで本機を操作できない。	操作範囲から外れている。	操作範囲内で操作してください。	16
	本体のリモコン信号受光部に日光や強い照明が当たっている。	照明または本体の向きを変えてください。	—
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池に交換してください。	—

フロントディスプレイのエラー表示

メッセージ	内容	対策
Access denied	パソコン（サーバー）がアクセスを拒否している。	本機がパソコン（サーバー）のフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください（35 ページ）。
Access error	USB 機器にアクセスできない。	本機の電源を切り、USB 機器を接続し直してください。それでもエラーが表示される場合は、別の USB 機器に音楽ファイルを移動して再生してください。
	iPod にアクセスできない。	iPod の電源を入れ直してください。
	非対応の iPod が接続されている。	対応している iPod をご利用ください（45 ページ）。
	ネットワーク経路に問題が発生している。	ルーターおよびモデムの電源が入っていることを確認してください。 本機とルーター（またはハブ）が正しく接続されているか確認してください（20 ページ）。
Check SP Wires	スピーカーケーブルがショートしている。	各スピーカーケーブルの芯線をしっかりとよじり、本機とスピーカーに接続し直してください（18 ページ）。
No content	選択したフォルダーに本機が再生可能なファイルが含まれていない。	本機が再生可能なファイルが含まれている、別のフォルダーを選択してください。
Please wait	本機がネットワーク接続に必要な準備をしている。	メッセージが消えるまでお待ちください。3 分経っても消えない場合は、本機の電源を入れ直してください。
Unable to play	USB 機器の曲を再生できない。	再生可能なファイルか確認してください。ほかの機器でも再生できない場合は、曲データが破損している可能性があります。
	iPod の曲を再生できない。	再生可能なファイルか確認してください。iPod 本体でも再生できない場合は、曲データや記憶領域が破損している可能性があります。
	パソコン（サーバー）の曲を再生できない。	本機で再生可能なファイルか確認してください。本機が対応している音楽ファイルについては「パソコン（サーバー）の曲を再生する」（35 ページ）をご覧ください。本機が対応しているファイルなのに再生できない場合は、ネットワークに大きな負荷がかかっている可能性があります。
Version error	ファームウェアの更新に失敗している。	再度ファームウェアを更新してください（56 ページ）。

商標



「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod または iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。

アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

本機を iPod または iPhone と使用する場合、無線通信の性能に影響する場合があります。

AirPlay、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch、iTunes は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。



DLNA™ および DLNA CERTIFIED™ はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。

Windows™

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android™

Android および Google Play は、Google Inc. の商標です。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

Wi-Fi Protected Setup マークは Wi-Fi Alliance のマークです。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected Setup、WPA、WPA2 は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。



Bluetooth® およびロゴは Bluetooth SIG の登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth プロトコルスタック (Blue SDK)

©1999-2014 OpenSynergy GmbH
All rights reserved. All unpublished rights reserved.

GPL/LGPL について

本製品は、GPL/LGPL ライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様は GPL/LGPL ライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布する権利があります。GPL/LGPL ライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPL ライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。
<http://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/>



ラジコ/radiko および radiko ロゴは株式会社 radiko の登録商標です。



MusicCast はヤマハ株式会社の登録商標です。

主な仕様

ネットワーク

- ・入力端子：NETWORK×1 (100Base-TX/10Base-T)
- ・PC クライアント機能
- ・DLNA ver.1.5 対応
- ・AirPlay 対応
- ・インターネットラジオ
- ・radiko.jp
- ・Wi-Fi 機能
 - WPS (Wi-Fi Protected Setup) 対応
 - iOS デバイスのワイヤレス設定共有対応
 - モバイル端末のダイレクト接続
 - 対応セキュリティー：WEP、WPA2-PSK (AES)、Mixed Mode
 - 無線周波数：2.4GHz
 - 対応規格：IEEE 802.11 b/g/n

Bluetooth

- ・送信動作
本機→Bluetooth対応機器 (Bluetooth対応ヘッドホンなど)
対応コーデックSBC
- ・受信動作
Bluetooth対応機器→本機 (モバイル端末など)
対応コーデックSBC、AAC
- ・Bluetooth対応機器からの再生操作 (再生 / 停止など) 対応
- ・BluetoothバージョンVer. 2.1+EDR
- ・対応プロファイルA2DP、AVRCP
- ・対応コンテンツ保護SCMT-T 方式
- ・無線出力Bluetooth Class 2
- ・最大通信距離10m (障害物が無いこと)

USB

- ・入力端子：USB×1 (USB2.0)
- ・iPod、USB マスストレージクラス対応
- ・最大供給電流：1.0A

オーディオ

- ・定格出力 (20Hz～20kHz、0.04%THD、6Ω)70W+70W
- ・ダイナミックパワー (IHF) (8/6/4/2Ω)105/125/150/178W
- ・パワーバンド (メインL/R) (0.06%THD、40W、8Ω)10Hz～50kHz
- ・ダンピングファクタ (SPEAKERS A) (1kHz、8Ω)150 以上
- ・実用最大出力 (JEITA) (1kHz、10%THD、6Ω) ...110W
- ・入力感度 / 入力インピーダンス
PHONO (MM)3.5mV/47kΩ
CD 他200mV/47kΩ
- ・最大許容入力
PHONO (MM) (1kHz、0.003% THD)60mV
CD 他 (1kHz、0.5% THD)2.2V

- ・出力電圧 / 出力インピーダンス(CD 他、入力 1kHz、200mV)
OUT200mV/1.0kΩ
- ・SUBWOOFER PRE OUT4.0V/1.2kΩ
(カットオフ周波数)90Hz
- ・PHONES (8Ω load)410mV/470Ω
- ・周波数特性
CD 他 (20Hz～20kHz)0±0.5dB
CD 他 (10Hz～100kHz、PURE DIRECT ON)
.....0±1.0dB
- ・RIAA 偏差
PHONO (MM)±0.5dB
- ・全高調波歪率
PHONO (MM) → OUT (20Hz～20kHz、3V)
.....0.025%以下
CD 他 → SPEAKERS (20Hz～20kHz、40W、8Ω)
.....0.015%以下
- ・信号対雑音比 (IHF-A ネットワーク)
PHONO (MM) (入力ショート、5mV)87dB 以上
CD 他 (PURE DIRECT ON、入力ショート、200mV)
.....100dB 以上
- ・残留ノイズ (IHF-A ネットワーク)30μV
- ・チャンネルセパレーション
CD 他 (入力 5.1kΩ ショート、1/10kHz)
.....65/50dB 以上
- ・トーンコントロール特性
BASS
可変幅 (20Hz)±10dB
ターンオーバー周波数350Hz
- ・TREBLE
可変幅 (20kHz)±10dB
ターンオーバー周波数3.5kHz
- ・LOUDNESS コントロール (アッテネーション 1kHz)
.....-30dB
- ・ゲイントラッキングエラー (+ 16.5dB ～ - 80dB)
.....0.5dB 以下
- ・デジタル入力 (OPTICAL/COAXIAL)
対応サンプリング周波数
.....32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz

FM チューナー

- ・受信周波数範囲76.0～94.9MHz
- ・50dB SN 感度 (IHF、1kHz、100% MOD.)
モノラル3μV (20.8dBf)
- ・信号対雑音比 (IHF)
モノラル / ステレオ65dB/64dB
- ・歪率 (1kHz)
モノラル / ステレオ0.5%/0.6%
- ・アンテナ入力75Ω アンバランス

AM チューナー

- ・受信周波数範囲531～1611kHz

全般

- ・電源電圧.....AC100V、50/60Hz
- ・消費電力.....190W
- ・オフモード.....0.1W
- ・待機電力.....0.1W
- ・ネットワークスタンバイ ON
有線接続時.....1.7W
無線接続時（Wi-Fi/ ワイヤレスダイレクト /Bluetooth）
.....1.8W/1.9W/1.6W
- ・寸法（幅 × 高さ × 奥行き）.....435×151×392mm
- ・質量.....9.8kg

* 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

索引

A

- ADVANCED SETUP 54
- AirPlay 40
- AM アンテナ 19
- AM ラジオ 30
- ANTENNA 端子 19
- Audio Receive
(Bluetooth、設定メニュー) 52
- Audio Send (Bluetooth、設定メニュー) 53
- Auto Power Standby 53
- Auto Preset (オプションメニュー) 30
- AutoPowerStdby (設定メニュー) 53

B

- BALANCE コントロール 28
- BASS コントロール 28
- Bluetooth 33
- Bluetooth Standby 52
- Bluetooth (設定メニュー) 52
- Bluetooth インジケーター 13

C

- CD 端子 14, 17
- Clear Preset (オプションメニュー) 32
- COAXIAL 端子 14, 17
- Connection (Network、設定メニュー) 51

D

- DHCP (Network、設定メニュー) 51
- DIMMER (明るさ調節) 11
- DISPLAY 47
- DLNA コンテンツの再生 35
- DMC Control (Network、設定メニュー) 52

E

- ECO Mode (設定メニュー) 53

F

- FM アンテナ 19
- FM モード 30
- FM ラジオ 30

I

- Information (Network、設定メニュー) 51
- INIT (アドバンストセットアップメニュー) 54
- Initial Volume (設定メニュー) 53

- INPUT セレクター 27
- IP Address (Network、設定メニュー) 51
- iPod コンテンツの再生 45
- iPod コンテンツの再生 (AirPlay) 40
- IP アドレス 51
- iTunes コンテンツの再生 (AirPlay) 40

L

- LINE 端子 14, 17
- LOUDNESS コントロール 28

M

- Manual Setting
(Wireless、設定メニュー) 24
- Max Volume (設定メニュー) 53
- MEMORY 31, 48
- Mono (FM ラジオ) 30
- MusicCast CONTROLLER 9

N

- NAS 20, 35
- Net Radio 38
- Network Name (Network、設定メニュー) 52
- Network Standby 52
- Network (設定メニュー) 51
- NEW FW Available 56

O

- OPTICAL 端子 14, 17
- OPTION 49

P

- Perform Update
(Network、設定メニュー) 52
- PHONES 端子 12
- PHONO 端子 14, 17
- PURE DIRECT 27

R

- radiko.jp 42
- REMOTE ID
(アドバンストセットアップメニュー) 54
- REPEAT (iPod) 46
- REPEAT (USB) 44
- REPEAT (パソコン / サーバー) 37

S

Security Key	25
(Wireless Direct、設定メニュー)	25
Security Key (Wireless、設定メニュー)	24
Security	
(Wireless Direct、設定メニュー)	25
Security (Wireless、設定メニュー)	24
SETUP	50
SHUFFLE (iPod)	46
SHUFFLE (USB)	44
SHUFFLE (パソコン / サーバー)	37
Signal Info. (オプションメニュー)	49
SLEEP インジケーター	29
SP IMP.	
(アドバンストセットアップメニュー)	54
SPEAKERS A/B	27
SSID (Wireless Direct、設定メニュー)	25
SSID (Wireless、設定メニュー)	24
Standby (Bluetooth、設定メニュー)	52
Standby (Network、設定メニュー)	52
STATUS (Information、設定メニュー)	26
Stereo (FM ラジオ)	30
SUBWOOFER PRE OUT 端子	14, 17

T

TREBLE コントロール	28
---------------	----

U

Update (Network、設定メニュー)	52
UPDATE	
(アドバンストセットアップメニュー)	55
USB	43
USB Cable (Wireless、設定メニュー)	22
USB (iPod)	45
USB コンテンツの再生	43

V

Version (Network、設定メニュー)	52
VERSION	
(アドバンストセットアップメニュー)	55
Vol.Interlock (オプションメニュー)	49
Volume Interlock (オプションメニュー)	49
Volume Trim (オプションメニュー)	49
VOLUME コントロール	27

W

WAC	22
Wi-Fi インジケーター	13
Wi-Fi 設定を共有 (iOS デバイス)	22
Wired (Network、設定メニュー)	51
Wireless Accessory Configuration	22
Wireless (Network、設定メニュー)	51
Wireless (WAC)	
(Wireless、設定メニュー)	22
WirelessDirect (Network、設定メニュー)	51
WPS (Wireless、設定メニュー)	23
WPS ボタン設定	23

あ

アドバンストセットアップメニュー	54
------------------	----

い

インターネットラジオ	38
------------	----

え

エコモード	53
エラー表示	62

お

オートプリセット (FM ラジオ)	30
オプションメニュー	49
音声の受信 (Bluetooth)	52
音声の配信 (Bluetooth)	53
音量調節	27

か

乾電池	16
-----	----

き

基本操作	27
------	----

さ

サーバー	20, 35
再生 (AirPlay)	40
再生 (Bluetooth)	33
再生 (FM/AM ラジオ)	30
再生 (iPod)	45
再生 (radiko.jp)	42
再生 (USB)	43
再生 (インターネットラジオ)	38
再生 (パソコン / サーバー)	35
最大音量設定	53

し

システム ID	52
システム設定	54
シャッフル再生 (USB)	44
シャッフル再生 (iPod)	46
シャッフル再生 (パソコン / サーバー)	37
手動設定 (無線 LAN)	24
初期音量設定	53

す

ステレオ (FM ラジオ)	30
スピーカーインジケーター	13
スピーカーインピーダンス	54
スピーカーケーブル	18
スピーカー接続	18
スピーカー選択	27
スピーカーバランス	28
スリープタイマー	29

せ

接続 (Bluetooth)	33
接続 (iPod)	45
接続 (USB)	43
接続 (外部機器)	17
接続 (ネットワーク)	20, 21
接続状態の確認 (ネットワーク)	26
接続方法 (ネットワーク)	51
設定の初期化 (アドバンストセットアップメニュー)	54
設定メニュー	50

て

デジタルメディアコントローラー	52
電源コード	20
電源の自動スタンバイ	53

と

トーンコントロール	28
登録 (プリセット)	32, 48

に

入力選択キー	27
--------	----

ね

ネットワーク接続 (設定メニュー)	51
ネットワークケーブル	20
ネットワーク情報	51
ネットワークスタンバイ	52
ネットワーク接続	21, 26
ネットワーク接続 (無線 LAN)	22, 23, 24, 25
ネットワーク接続 (有線)	20
ネットワーク名	52

は

バイワイヤリング接続	18
パソコン	20, 35

ふ

ファームウェアの更新	52, 55, 56
ファームウェアバージョン	52, 55
ブックマーク (インターネットラジオ)	39
プリセット (FM/AM ラジオ)	31, 32
プリセット (USB)	48
プリセット (ネットワーク入力)	48
プリセット機能	48
フロントディスプレイ (各部の名称と機能)	13
フロントディスプレイ (表示切り替え)	47
フロントパネル (各部の名称と機能)	11

へ

ペアリング (Bluetooth)	33
ヘッドホン	12

む

無線アンテナ	14, 20
無線接続 (Bluetooth)	33
無線接続 (ネットワーク)	22, 23, 24, 25

め

メディアの共有設定 (パソコン / サーバー)	35
-------------------------	----

も

モノラル (FM ラジオ)	30
---------------	----

ゆ

有線接続 (ネットワーク)	20
---------------	----

よ

呼び出し (プリセット)	32, 48
--------------	--------

ら

ラウドネス 28

り

リアパネル（各部の名称と機能） 14
リピート再生（iPod） 46
リピート再生（USB） 44
リピート再生（パソコン／サーバー） 37
リモコン（各部の名称と機能） 15
リモコンID 54

わ

ワイヤレスダイレクト 25

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル **0570-011-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関する お問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル **0570-012-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

別途、駐車料金をいたたく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

*品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エーペンジングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

*このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コグくさい臭いがある。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。



ヤマハ株式会社

2022年1月 発行 AMEM-W-C0

Printed in Malaysia ZS22640-1